取扱説明書

通話録音装置
VR-D175A

このたびは通話録音装置 VR-D175A をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をお読みいただき正しくお使いください。
お読みになったあとも大切に保管していただき、必要なときにお役立てください。

株式会社 タカコム

もくじ

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

STOP お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容および利用できない機能などの内容を示しています。

ワンポイント

この表示は、本製品を取り扱う上で知っておくと便利な事項、および操作へのアドバイスなどの内容を示しています。

警告　ご使用にあたって

本装置がぬれたり、水が入らないようご注意ください。また、ぬれた手で本装置を操作しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

本装置のケースをはずしたり、改造しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。内部の点検・清掃・修理は、当社「修理センター」にご依頼ください。

本装置の通風口などから、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。万一、異物が入ったときは、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社「修理センター」にご連絡ください。

警告　電源について

AC100Vの電源コンセント以外には、絶対に接続しないでください。また、テーブルタップなどを使用したタコ足配線はしないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。

電源アダプタは添付のもの以外は使用しないでください。
火災・感電の原因になります。

電源アダプタは大切に扱ってください。
コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、加工や加熱したり、傷つけたりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因になります。コードが傷んだ場合は、当社「修理センター」にご連絡ください。

電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに確実に差し込んでください。また、定期的に電源アダプタをコンセントから抜いて、点検・清掃をしてください。
ほこりにより火災・感電の原因になります。

警告　設置場所や環境について　設置にあたって

本装置のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属類をおかないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因になります。万一、異物が入った場合は、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社「修理センター」にご連絡ください。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
倒れたり、落下してけがの原因になります。

警告 設置場所や環境について 設置にあたって

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

警告 こんなときは（対処のしかた）

雷が鳴り出したら、本装置や電源アダプタには触れないでください。
落雷による感電の原因になります。

動作が異常、音が出ないなど故障状態のままで使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社「修理センター」に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

煙が出ている、変な臭いがするなど異常状態のまま使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、煙が出なくなることを確認して当社「修理センター」に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

内部に水が入った場合は、使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社「修理センター」に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

本装置を落としたり、ケースを破損した場合は、使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社「修理センター」に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

床や壁の掃除などによって、電源アダプタやモジュラージャックに洗剤・ワックスなどが付着しないようにしてください。
付着した場合にはすぐに拭き取ってください。そのまま使用すると、火災の原因になります。

注意 使用方法・設置環境について

直射日光の当たる場所や温度の高いところに置かないでください。
内部の温度が上がり、火災の原因になります。

密閉したところに置かないでください。また、テーブルクロスや座布団などで通風口をふさがないでください。
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電や、漏電火災の原因になることがあります。

STOP お願い 使用方法・設置環境について

落としたり強い衝撃を加えないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。

ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。
汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れを拭き取り、柔らかい布でカラぶきをしてください。

極端に寒いところ、ちりやほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所に置かないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。

テレビ・ラジオ・こたつ・アンプ・スピーカボックス・電気カーペットの上など磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。

- この装置は、クラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると受信妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。　ＶＣＣＩ－Ａ
- 本装置の仕様は国内向けになっていますので、規格の異なる海外でご利用いただくことはできません。
  This device is designed to use only in Japan so that the use of the equipment is prohibited in foreign countries.
- この取扱説明書、ハードウエア、ソフトウエアおよび外観の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 共同電話、公衆電話、地域集団電話ではご使用になれません。
- 正常な使用状態で本装置に故障が生じた場合、当社は本装置の保証書に定められた条件に従って修理いたします。
  ただし、本装置の故障・誤動作または不具合により、通話などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お使いになる前に

本システムは、本体装置の「通話録音装置 VR-D175A」（以下、「VR-D175A」と記します。）およびパソコンで音声ファイルが再生できる「再生ソフト VPS175」（以下、「VPS175」と記します。）で構成されます。
「VR-D175A」は、通話録音の音源として「受話器」に接続する方法、「外部音源」に接続する方法、および「回線」に接続する方法があります。

■ セットの確認

次のものがそろっていることをご確認ください。万一、セットに足りないものがあったり、取扱説明書に落丁・乱丁があったときは、販売店または当社営業所へご連絡ください。当社営業所については当社ホームページ（http://www.takacom.co.jp）の「営業拠点」をご覧ください。

品名	数量
本体	1
電源アダプタ	1
SD カード	1
セキュリティカバー	1
モジュラーコード　20cm	1
モジュラーコード　3m	1
取扱説明書	1

■ 停電について

- 停電すると本装置は通話の録音はできません。録音中に停電すると、直ちに本装置は停止します。録音中の内容は保存できません。
- 各種設定や保存されている録音が消えることはありません。

■ システム概要

●接続方式（通話音声の入力方法）

・受話器接続

電話機の受話器に接続します。

・外部入力接続

電話機の音声出力端子と接続します。

・回線接続

電話回線に接続します。

●録音方式

・自動録音

音声の有無または本装置外からの信号で録音開始・録音終了を制御します。

・手動録音

本装置の録音ボタンを押すと録音を開始し、停止ボタンを押すと録音を終わります。

●起動方式

・音声起動

音声の有無で録音開始・録音終了を制御します。

・外部起動

本装置外からの信号で録音の開始・終了を制御します。

●外部録音装置の制御

本装置と外部の録音装置を連動して録音制御することができます。

●ビギニング録音機能

手動録音方式で、通話の途中で録音ボタンを押したときに、その通話の最初からの録音を残すことができます。

●録音モード

標準の「ＳＰモード」と､録音時間が２倍になる「ＬＰモード」を選択することができます。

●エンドレス録音

１枚の SD カードでエンドレス録音をすることができます。すべて使い切ると、古い録音を消しながら新しい録音を記録します。

●再生速度

「標準／早い（1.5 倍）」の２モードがあります。

●重要マーク

特定の音声ファイルに重要マークをつけ、重要ファイルだけを再生することができます。

●セキュリティ

SD カードや本体装置の盗難防止のために、セキュリティカバーとセキュリティワイヤーを取り付けることができます。また、本体装置のボタン操作を禁止する暗証番号の登録ができます。

●再生ソフト VPS175

当社のホームページからダウンロードした「VPS175」をインストールし、音声ファイルをパソコンで再生することができます。
下記からダウンロードしてください。

【タカコムホームページアドレス】
http://www.takacom.co.jp
「ソフトウェア」

■ SD カードについて

●対応カード

SD/mini SD/micro SD/
SDHC/mini SDHC/micro SDHC

・mini SD/micro SD/mini SDHC/micro SDHC を本装置に挿入する場合は、SD カードアダプタを使用してください。
・SDHC UHS-Ⅰ/Ⅱには対応していません。

●録音可能時間

ご利用になれる「SD カード」の容量と、おおよその録音時間は次のとおりです。

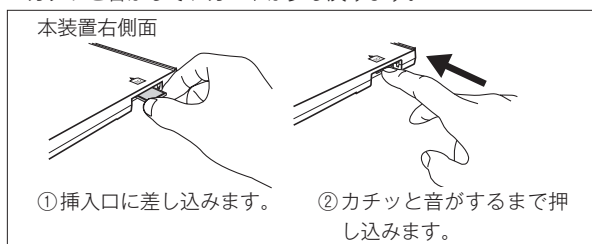
容量	録音モード	
	SP モード	LP モード
128MB	8.5 時間	17 時間
256MB	17 時間	34 時間
512MB	34 時間	68 時間
1GB	68 時間	136 時間
2GB	138 時間	277 時間
4GB	277 時間	555 時間
8GB	555 時間	1110 時間
16GB	1110 時間	2221 時間
32GB	2220 時間	4444 時間

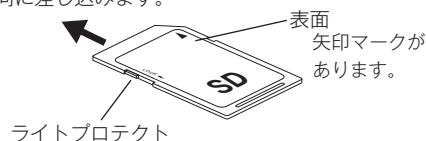
・1枚の SD カードに最大 9,999 件の録音を記録することができます。
・SD カードは本装置専用としてください。他の機器で使用した SD カードは、必ず本装置でフォーマットをしてからお使いください。SD カード内に本装置以外のデータが混在すると、誤動作の原因となることがあります。
・市販の SD カードは、まれに正常に機能しないことがあります。
・小刻みに録音を繰り返した場合や、短い通話の録音が多いときは、録音可能時間は上表より 5 ~ 20%程度短くなる場合があります。

STOP お願い

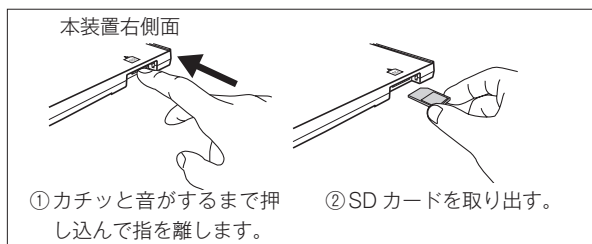
● 本装置で使用した SD カード内のファイルをパソコンで編集したり、追加や削除をしないでください。本装置で正常に読み取ることができなくなります。

●本装置に入れる

SD カードのライトプロテクトがロックされていないことを確認して、表面を上にして SD カード挿入口に差し込みます。奥までしっかり差し込みます。
※カチッと音がして、カードが少し戻ります。

STOP お願い

● 差し込む方向と表裏を間違えないように注意してください。間違えると機器を破損することがあります。

● 本装置では、SD カードのライトプロテクトがロックされた状態では使用できません。必ずロックを解除してセットしてください。
● 差し込んだとき、ディスプレイにエラーが表示された場合は、もう一度差しなおしてください。

●本装置から取り出す

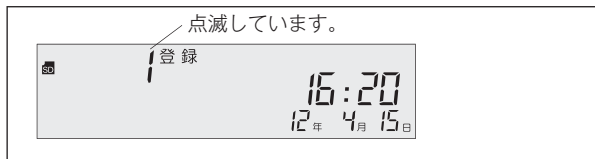
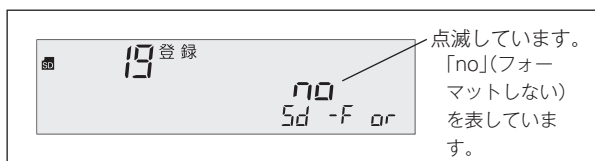
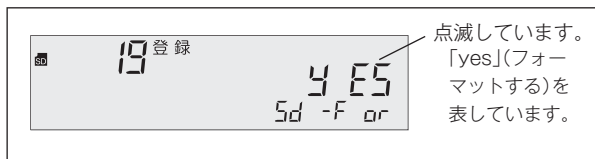
本装置が【待機画面】で、ディスプレイの SD カードマークが点滅していないことを確認します。
SD カードを押し込みます。
※カチッと音がしたら、指を離します。
SD カードをつまんで取り出します。

STOP お願い

● SD カードマークが点滅中は、SD カードを取り出さないでください。内部のデータが壊れることがあります。

●フォーマット

新しいSDカードを初めて本装置に装着すると、自動的に本装置専用のフォーマットをします。
ご使用中のSDカードをフォーマットする方法は次のとおりです。フォーマットをするとすべての録音内容が消去されますのでご注意ください。

<手順>（21ページ参照）

① **登録** ボタンを押します。

② **巻戻** ボタンを1回押して登録番号の「19」の点滅を確認した後で、**登録** ボタンを押します。

③ **早送** ボタンを押し表示を下の図にして **登録** ボタンを押します。

④ フォーマットが始まります。

⑤ フォーマット終了後、**停止** ボタンを押すと【待機画面】になります。

お願い

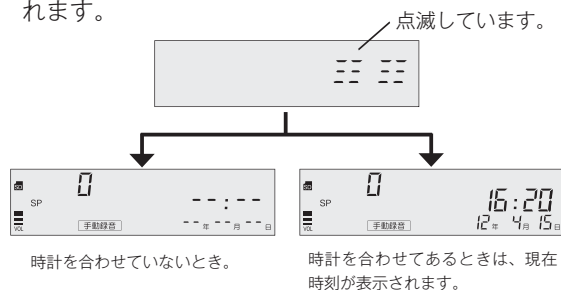
● フォーマットを実施すると、SDカード内のすべてのデータが消去されます。フォーマットする前には、大切なデータが記録されていないことを確認してください。

ワンポイント

● SDカードが入っていない、または入っていても入り方が完全でない場合スピーカから警報音（「ピピ、ピピ」）がでて、ディスプレイに次のように表示されます。

任意のボタンを押すと警報音を止めることができます。

● SDカードを入れるとディスプレイは数秒間下のような表示になり、その後【待機画面】が表示されます。

時計を合わせていないとき。　時計を合わせてあるときは、現在時刻が表示されます。

■ 運用開始までの手順

1 設置と機器の接続

10ページ

電源や電話機の接続をします。

2 時計を合わせる

15ページ

本装置内蔵の時計を合わせます。録音時刻を記録する時計になります。

3 機能設定

16ページ

本装置裏面の機能設定スイッチで録音方式や録音起動方式、音源接続方式（通話音声の入力方法）などを設定します。

4 録音レベル調整

18ページ

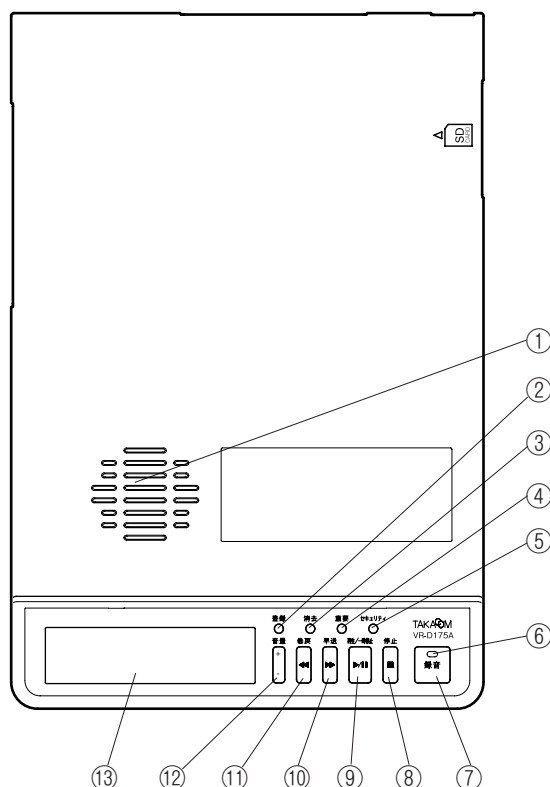
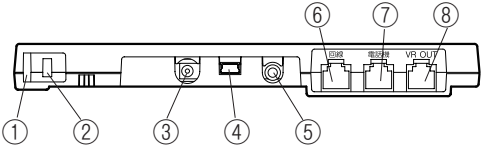
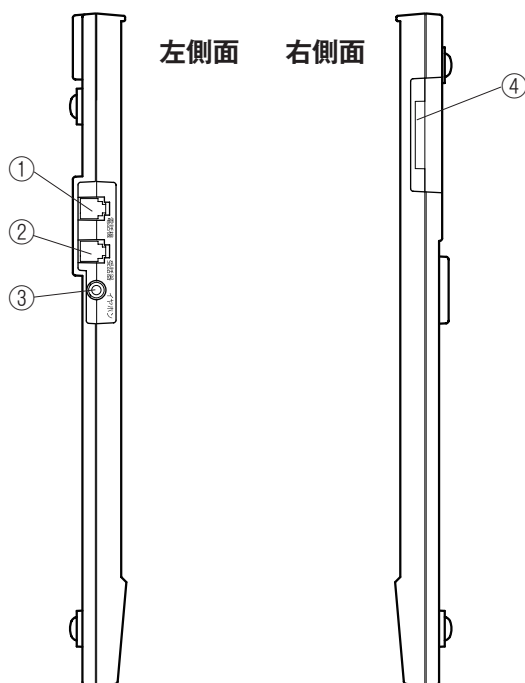
送話および受話の音量などを調節します。

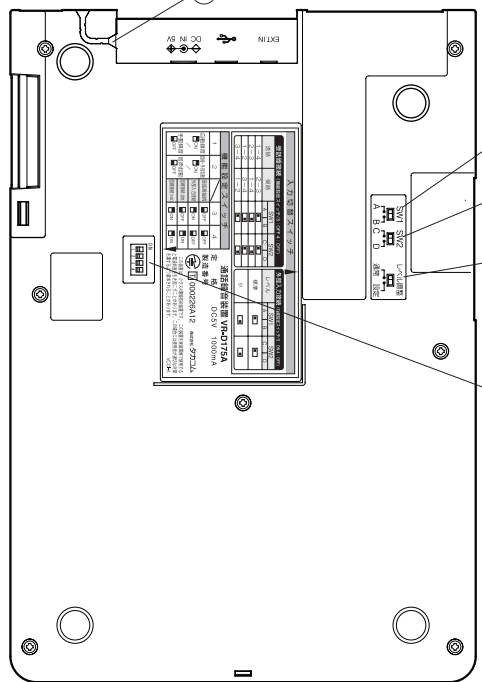
5 各種機能登録

20ページ

必要であれば、機能登録を変更します。

各部の名前とはたらき

上　面

番号	名称	主なはたらき
1	スピーカ	録音内容を拡声します。
2	登録ボタン	機能登録をするときに使用します。
3	消去ボタン	音声ファイルを消去するときに押します。
4	重要ボタン	重要マークをつけるときに押します。
5	セキュリティボタン	セキュリティロックを解除するときに押します。
6	録音ランプ	録音待機時に緑、録音時に赤で点灯します。
7	録音ボタン	手動録音では録音するとき、自動録音では録音待機にするときに押します。
8	停止ボタン	いろいろな動作を終了するときに押します。
9	再生／一時停止ボタン	音声ファイルを再生するときや一時停止するときに押します。
10	早送ボタン	再生時に録音内容を進めるときに押します。
11	巻戻ボタン	再生時に録音内容を戻すときに押します。
12	音量ボタン	再生音量を調節するときに＋・－を押します。
13	ディスプレイ	動作状況や録音された内容の情報を表示します。

側 面

番号	名称	主なはたらき
1	電話機ジャック	電話機の受話器ジャックと接続します。
2	受話器ジャック	受話器を接続します。
3	イヤホンジャック	イヤホンを接続します。
4	SD カード挿入口	SD カードを挿入します。

後　面

番号	名称	主なはたらき
1	セキュリティカバー挿入口	セキュリティカバーを挿入します。
2	セキュリティスロット	市販のセキュリティワイヤーを接続します。
3	電源アダプタジャック	電源アダプタを接続します。
4	USB コネクタ	市販の USB ケーブルを接続します。
5	外部入力ジャック	市販の外部音源の入力ケーブルを接続します。
6	回線接続ジャック	アナログ電話回線を接続します。
7	電話機接続ジャック	電話機、外部起動入力を接続します。
8	VR OUT 接続ジャック	外部の録音装置などを接続します。

裏　面

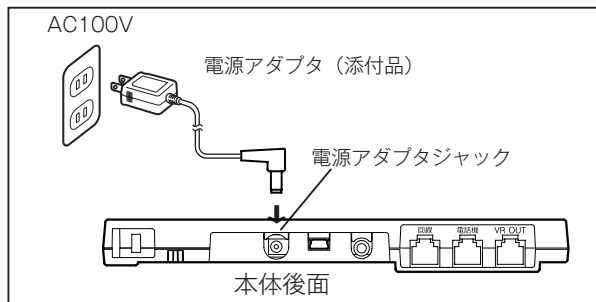
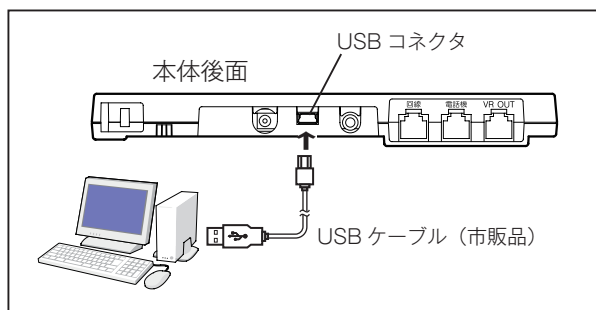
番号	名称	主なはたらき
1	入力切替スイッチ 1	受話器接続時の送受話ピン番号を、接続する電話機に合わせて切り替えます。また、外部入力接続時のレベルを切り替えます。
2	入力切替スイッチ 2	
3	レベル調整スイッチ	送受話のレベルを調整するとき「設定」側に切り替えます。
4	機能設定スイッチ	録音方式や録音起動方式などの機能を設定します。
5	電源アダプタコードガイド	電源アダプタコードをガイドに沿って収納します。

ディスプレイの表示項目

設置・設定編

設置

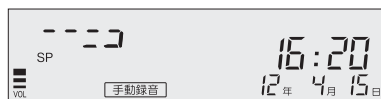
電源の接続

電源アダプタを AC100V に接続します。本装置には電源スイッチがありませんので、接続すると電源が入ります。添付の電源アダプタ以外は使用しないでください。火災などの原因になります。

パソコンと USB 接続した場合も電源が入ります。ただしパソコンが起動していないときは、本装置の電源は入りません。また、パソコンがスタンバイモードになったときは電源が切れます。

お願い

- 1 台のパソコンに本装置を複数台接続しないでください。パソコンの OS によっては不安定な動作をすることがあります。
- USB ケーブルは市販の「USB(A) オス－ USB (mini-B) オス」タイプの商品をご用意ください。
- USB ハブ経由で電源の供給を行なう場合は、電流容量が 500mA の USB ハブをご使用ください。
- USB ケーブルをパソコンに挿し直す場合は、5 秒以上時間を置いてから接続してください。
- 電源の供給を USB のみで長期間ご使用の場合、本装置の内蔵時計の時刻誤差が大きくなることがあります。定期的に時刻の修正登録を行うことをお薦めします。

起動時即時操作について

- 本装置を電源に接続したときに、SD カードの内容を保証するまで、下図のようにディスプレイが表示されます。（AC100V 接続時で 15 秒程度、USB 接続で 25 秒程度）

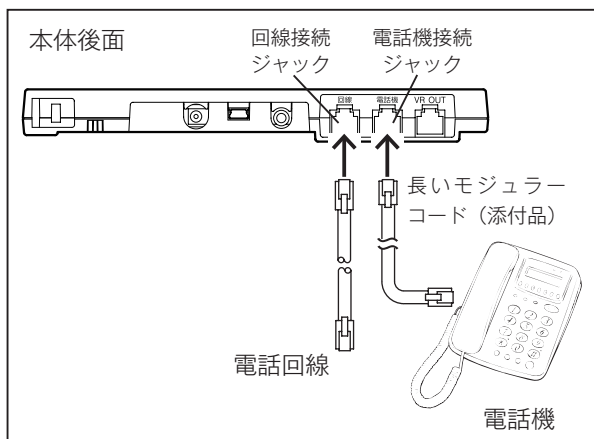
  【起動時即時操作なしのディスプレイ表示例】

- 起動時即時操作の設定方法は「機能登録を変える」（20 ページ）を参照してください。

音源の接続

■ 電話回線に接続するとき

アナログ電話回線に接続します。
機能設定スイッチで音源接続方式を「回線接続（通常）／回線接続（ND）」にします。

※接続する回線がナンバーディスプレイサービスを契約をしている場合は、「回線接続（ND）」に設定します。

回線接続ジャックに電話回線、電話機接続ジャックに電話機を接続します。

お願い

● 電話回線に接続してご使用の場合は、必ず、次の「機能登録」および「機能設定スイッチ」の設定を行ってください。

◆「機能登録」の登録番号 16［外部起動入力］を、「0：回線電圧起動」に設定します。
※「機能登録を変える」(20 ページ) を参照してください。

◆「機能設定スイッチ」の［録音起動方式］を、「SW-2 ON：回線・外部起動」に設定します。
※「録音起動方式の設定」（16 ページ）を参照してください。

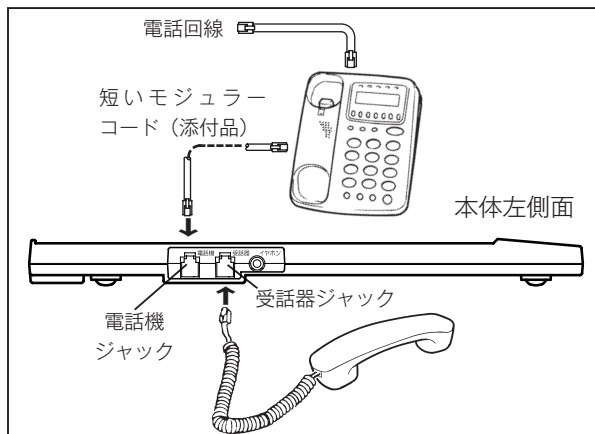
◆「機能設定スイッチ」の［音源接続方式］を、「回線接続」に設定します。
※「音源接続方式の設定」（16 ページ）を参照してください。

ワンポイント

● 電話回線に接続した場合、録音の「起動／停止」は、接続した電話機の受話器の上げ下ろしが起動信号となります。

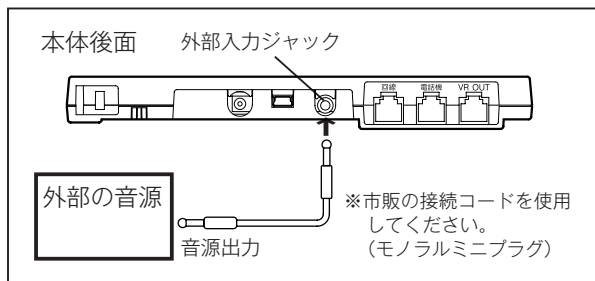
● ナンバーディスプレイに加入している場合は、必ずナンバーディスプレイ対応電話機をご利用ください。非対応電話機を接続したときは、ナンバーディスプレイの表示がされません。

■ 受話器に接続するとき

機能設定スイッチで音源接続方式を「受話器接続」にします。
電話機から受話器をはずし、本装置の受話器ジャックに接続します。添付の短いモジュラーコードで電話機の受話器ジャックと、本装置の電話機ジャックを接続します。

ワンポイント

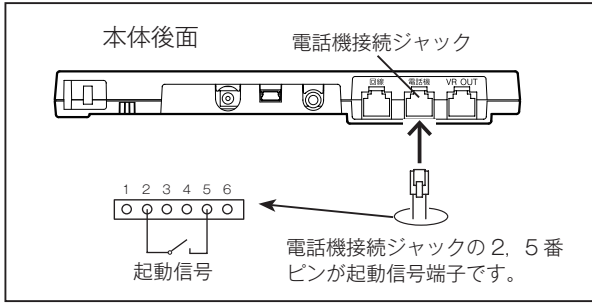
● 本装置を電話機の受話器に接続した場合、まれに、通話相手の電話機で音声が二重に聞こえる（エコーがかかる）場合があります。このような場合は、本装置裏面の「入力切替スイッチ」で、送受話のピン番号をお使いの電話機と合わせてください。詳しくは「入力切替スイッチの設定」(17 ページ）を参照してください。

■ 外部音源に接続するとき

機能設定スイッチで音源接続方式を「外部入力接続」にします。
外部入力ジャックに外部音源を接続します。

その他の接続

本装置では自動録音、および手動録音のビギニング録音で、録音起動方式に回線・外部起動方式が設定できます。また、外部の録音装置が連動して録音をするように接続することができます。

■ 外部起動入力の接続

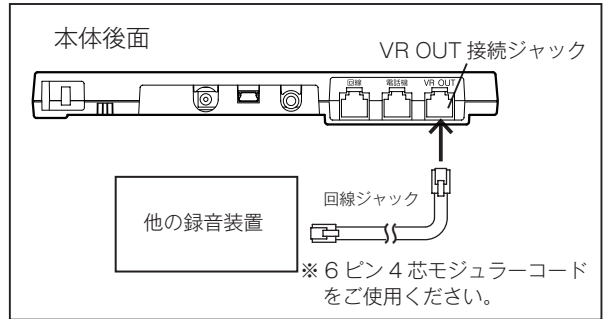
外部からの接点信号により、録音の「起動／停止」を制御することができます。

① 上図のように起動信号を 2-5 番ピンに接続します。
② 機能設定スイッチ（SW-2）で､録音起動方式を“ON（回線・外部起動）”にします。
③ 接点信号の方式により、機能登録「16」の設定値を変えます。
- ● 設定値が「1」のとき
  メークで録音、ブレークで待機
- ● 設定値が「2」のとき
  メークで待機、ブレークで録音

④ 以上の準備をしたあと、自動録音の場合は［録音］ボタンを押しておきます。
⑤ 外部起動入力に同期して、録音の「起動／停止」をします。

お願い

- ● 外部の接点信号で録音の「起動／停止」を行う場合は、本装置を電話回線に接続していても、受話器の上げ下ろしで録音の「起動／停止」を行うことはできません。

■ VR OUT 端子への接続

本装置と録音装置が連動して録音をするように接続することができます。

① 上図のように本装置と録音装置を接続します。
接続には６ピン４芯のモジュラーコードをご使用ください。２芯のコードでは、大型録音装置へ起動信号を送ることができません。
② 起動信号の送り方を、機能登録「17」の設定値で変えます。
- ● 設定値が「0」のとき
  本装置が録音中（録音ランプが赤色点灯時）に起動信号を出力します。
  【待機画面】、再生中のときは信号を出力しません。
- ● 設定値が「1」のとき
  本装置の状態にかかわらず「外部起動入力」に連動して信号を出力します。

電源を投入した直後の処理中は信号を出力しません。

運用上の注意事項

本装置を次の様な運用方法でご利用いただく場合は、機能登録、機能設定スイッチを下記のように設定してください。

運用 1

電話回線に接続して、自動録音方式で外部起動入力を使用して録音の「起動／停止」を行なう場合

※電話回線への接続については、「設置　音源の接続　電話回線に接続するとき」（11 ページ）を参照してください。
※自動録音方式の設定については、「設定　機能設定スイッチの切り替え　録音方式の設定」（16 ページ）を参照してください。
※外部起動入力での録音については、「設置　その他の接続　外部起動入力の接続」（12 ページ）を参照してください。

運用 2

3 回線音声応答装置 AT-D39SⅡ RB と連動して、用件録音装置として使用する場合

※ 3 回線音声応答装置 AT-D39SⅡ RB への接続については、AT-D39SⅡ RB の取扱説明書「録音装置の接続方法例」を参照してください。

VR-D175A 設定内容

● 機能登録の設定

「機能登録」を次のように設定します。

・登録番号 16（外部起動入力）：1　メークで起動

※「機能登録を変える」（20 ページ）を参照してください。

● 機能設定スイッチの設定

「機能設定スイッチ」を次のように設定します。

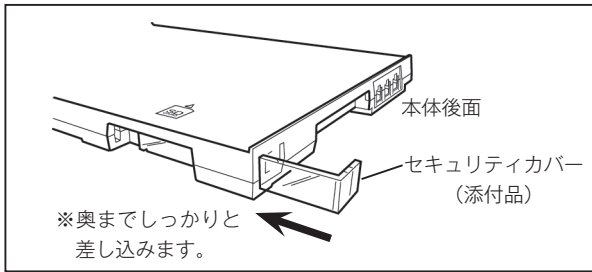
・録音方式の設定（SW-1）　：ON　自動録音
・録音起動方式の設定（SW-2）　：ON　回線・外部起動
・音源接続方式の設定（SW-3/4）　：OFF/ON　回線接続（通常）

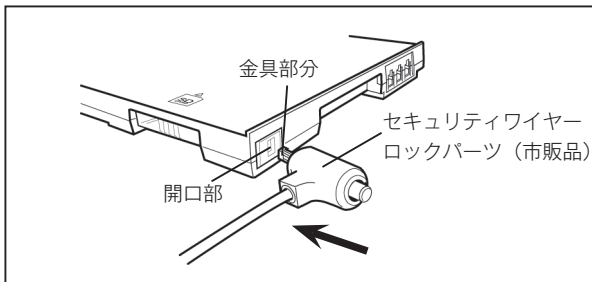
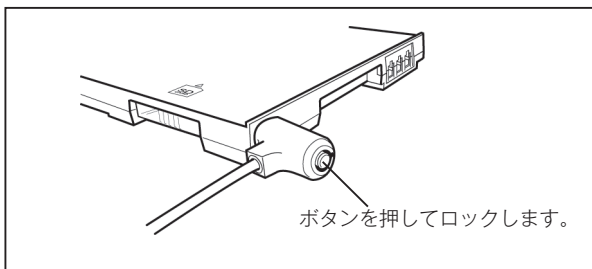
※「運用 1」で電話回線がナンバーディスプレイのときは、（SW-3/4）を（ON/ON）にします。
※「設定　機能設定スイッチの切り替え」（16 ページ）を参照してください。

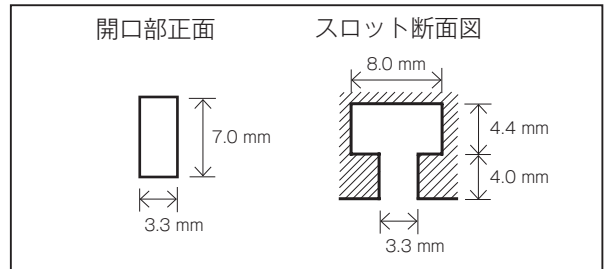
セキュリティカバーの取り付け

本装置にはSDカードおよび本体の盗難防止のために、セキュリティスロットが設けられています。次の方法でセキュリティカバー（添付品）とセキュリティワイヤー（市販品）を取り付けてください。

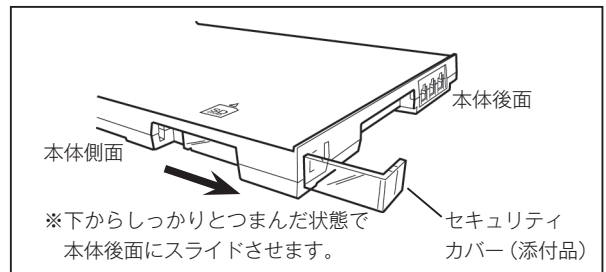
● セキュリティカバーの取り付け

後面の、セキュリティカバー挿入口からセキュリティカバー（添付品）を差し込みます。

● セキュリティワイヤーの取り付け（例）

市販のセキュリティワイヤーのロックパーツの金具部分を、セキュリティカバーの開口部に差し込みます。

ロックパーツのボタンを押して、セキュリティワイヤーをロックします。

● セキュリティスロットの寸法

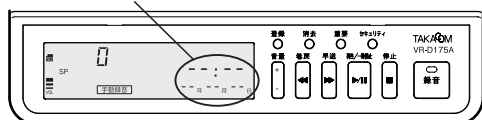
本装置のセキュリティスロットの寸法は以下の通りです。サイズに応じたセキュリティワイヤーをご用意ください。

セキュリティカバーの取り外し

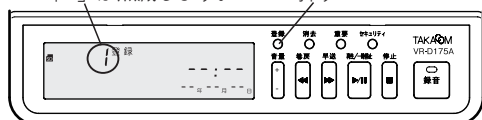
● セキュリティカバーの取り外し

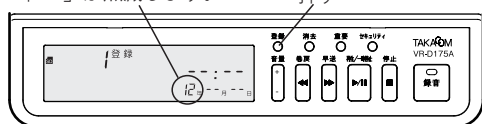
本装置をしっかりと固定して、本体側面のセキュリティカバーを下からしっかりとつまんだ状態で、本体後面にスライドさせて取り外します。

時計を合わせる

最初に時計を合わせます。通話録音開始の時刻を記録するときにこの時計の値が使われます。
例：2012 年 4 月 15 日 14 時 38 分に合わせます。

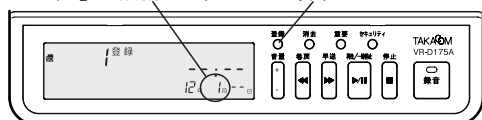
1 最初に電源を入れ、SD カードを入れた状態です。

「--」が点滅しています。

2 **登録** ボタンを押します。
※登録モードになり、登録番号「1」が点滅します。

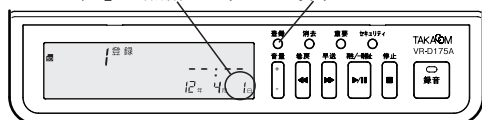
「1」が点滅します。　押す

3 もう一度 **登録** ボタンを押します。
※「年」が点滅します。

「12」が点滅します。　押す

●「年」を合わせます。
巻戻 ／ **早送** ボタンを押して、合わせる年（12）を表示します。

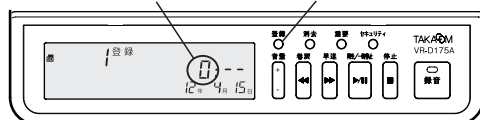
4 **登録** ボタンを押します。
※「年」が登録されて「月」が点滅します。

「1」が点滅します。　押す

●「月」を合わせます。
巻戻 ／ **早送** ボタンを押して、合わせる月（4）を表示します。

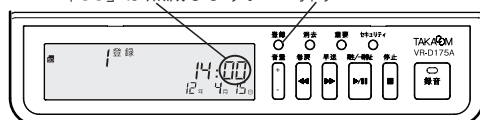
5 **登録** ボタンを押します。
※「月」が登録されて「日」が点滅します。

「1」が点滅します。　押す

●「日」を合わせます。
巻戻 ／ **早送** ボタンを押して、合わせる日（15）を表示します。

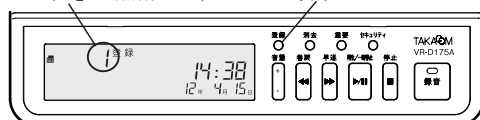
6 **登録** ボタンを押します。
※「日」が登録されて「時」が点滅します。

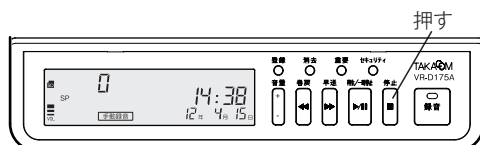
「0」が点滅します。　押す

●「時」を合わせます。
巻戻 ／ **早送** ボタンを押して、合わせる時（14）を表示します。

7 **登録** ボタンを押します。
※「時」が登録されて「分」が点滅します。

「00」が点滅します。　押す

●「分」を合わせます。
巻戻 ／ **早送** ボタンを押して、合わせる分（38）を表示します。

8 **登録** ボタンを押します。
※「分」が登録されます。
※登録番号の選択に戻り、登録番号「1」が点滅します。

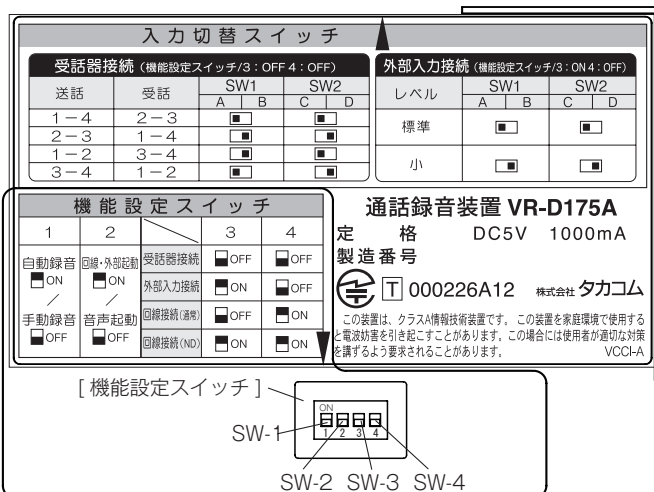
「1」が点滅します。　押す

9 **停止** ボタンを押します。
※【待機画面】が表示されます。
※合わせた日付と時刻が表示され「：」が点滅します。

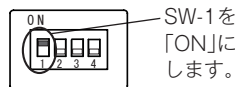
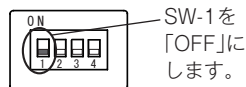
押す

ワンポイント

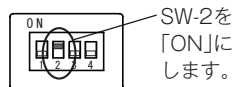
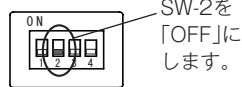
- 時刻を修正するときは、手順 1 から同様の操作をします。
- 手順 8 で **登録** ボタンを押したときにゼロ秒になります。
- 操作の途中で２分間何も操作をしないと、それまでの処理をキャンセルし、【待機画面】に戻ります。
- 途中で **停止** ボタンを押すと、それまでの操作をすべてキャンセルし、手順２に戻ります。

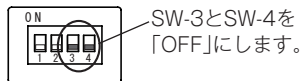
設定

機能設定スイッチの切り替え

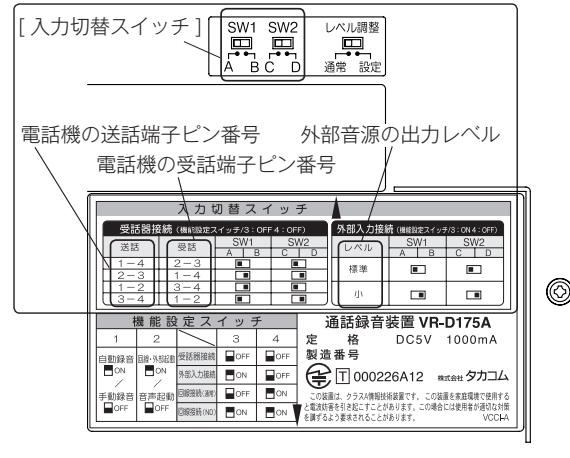
録音方式・録音起動方式、および音源との接続方式を、本装置裏面の機能設定スイッチで設定します。

■ 録音方式の設定（SW-1）

本装置を手動録音方式で使用するか、自動録音方式で使用するかを設定します。

■ 録音起動方式の設定（SW-2）

録音の「起動／停止」を音声の「有／無」で使用するか、回線または外部からの起動信号の「有／無」で使用するかを設定します。手動録音方式ではビギニング録音を行わない場合は、この設定は無効です。

■ 音源接続方式の設定（SW-3/SW-4）

本装置をどこに接続して音声を録音するのかを「音源の接続」に合わせて設定します。

	3	4
受話器接続	OFF	OFF
外部入力接続	ON	OFF
回線接続(通常)	OFF	ON
回線接続(ND)	ON	ON

入力切替スイッチの設定

音源接続方式が回線接続の場合は、設定の必要はありません。

■受話器接続の場合

音源接続方式が受話器接続のときは、「入力切替スイッチ（1、2)」は**工場出荷時の位置**でご使用ください。このとき、録音した音声が小さいなどの現象が発生した場合は、このスイッチで送受話のピン番号をお使いの電話機に合わせてください。詳しくは販売店または当社営業所にお問い合わせください。

※電話機の機種により次の設定を目安としてください。

《一般電話》

設定１または設定２でご使用ください。

設定１

受話器接続（機能設定スイッチ/3：OFF 4：OFF）

送話	受話	SW1 A	SW1 B	SW2 C	SW2 D
1－4	2－3	■		■	

設定２

受話器接続（機能設定スイッチ/3：OFF 4：OFF）

送話	受話	SW1 A	SW1 B	SW2 C	SW2 D
2－3	1－4		■		■

《IP 電話》

設定３または設定４でご使用ください。

設定３

受話器接続（機能設定スイッチ/3：OFF 4：OFF）

送話	受話	SW1 A	SW1 B	SW2 C	SW2 D
1－2	3－4		■	■	

設定４

受話器接続（機能設定スイッチ/3：OFF 4：OFF）

送話	受話	SW1 A	SW1 B	SW2 C	SW2 D
3－4	1－2	■			■

音源接続方式の設定（SW-3/SW-4）が
SW-3：OFF、SW-4：OFF であることが必要です。

■外部入力接続の場合

音源接続方式が外部入力接続のときは、「入力切替スイッチ（1、2)」を下図の「標準」に設定します。このとき、録音した音声が小さい場合は、「小」に切り替えてください。スイッチの切り替えを行っても改善できない場合は、次項の「録音レベルの調整」を行ってください。

《標準》

外部入力接続（機能設定スイッチ/3：ON 4：OFF）

レベル	SW1 A	SW1 B	SW2 C	SW2 D
標準	■		■	
小		■		■

《小》

外部入力接続（機能設定スイッチ/3：ON 4：OFF）

レベル	SW1 A	SW1 B	SW2 C	SW2 D
標準	■		■	
小		■		■

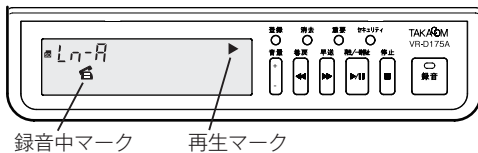
音源接続方式の設定（SW-3/SW-4）が
SW-3：ON、SW-4：OFF であることが必要です。

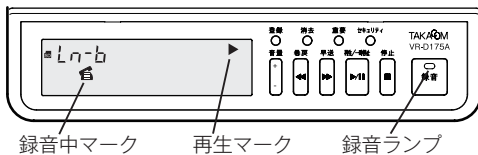
録音起動の確認

音源接続方式が回線接続の場合は、録音レベルの調整はできません。以下の方法で録音起動の確認ができます。

● 録音起動の確認

1 【待機画面】表示中に、本装置裏面の「レベル調整スイッチ」を“設定”側に切り替えます。
※【送話レベル調整画面】が表示されます。

【回線接続（通常）の場合】

受話器を上げると録音中マークが表示されます。
録音を開始すると再生マークが表示され、録音ランプが点灯（赤）します。

【回線接続（ND）の場合】

受話器を上げると録音中マークが表示されます。
受話器上げが３秒以上継続すると録音を開始します。再生マークが表示され、録音ランプが点灯（赤）します。

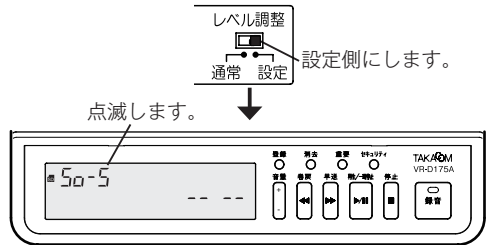
録音レベルの調整

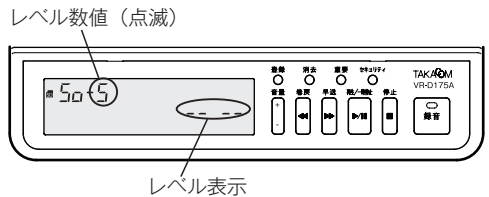
通話録音の音声が全体的に小さい、送話または受話の音声だけが小さいなどのときは、次の手順でレベルの調整を行います。また、この調整画面では録音起動の確認もできます。

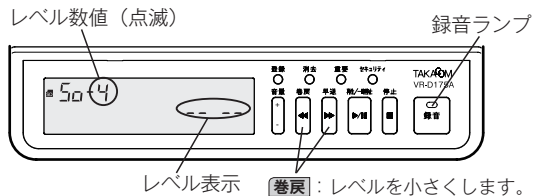
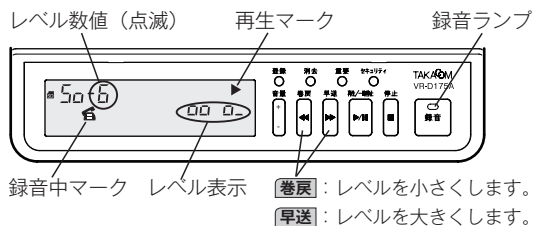
■ 受話器入力の調整

受話器接続したときの、送話レベルおよび受話レベルを調整します。「機能設定スイッチ３および４」で、受話器接続に設定します。「音源接続方式の設定」(16ページ）を参照してください。

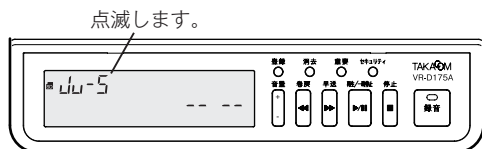
● 送話レベルの調整

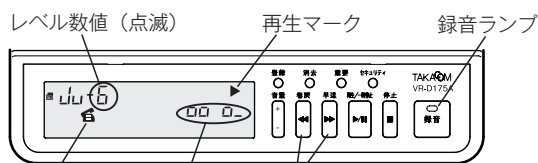
1 【待機画面】表示中に、本装置左側面の「レベル調整スイッチ」を“設定”側に切り替えます。
※【送話レベル調整画面】が表示されます。

2 接続された電話機で、外線に電話をかけてお話しします。

3 通話中に 巻戻 ／ 早送 ボタンでレベルを調整します。

※レベル数値は、0（録音しない）と、1（小）～8（大）の間で設定できます。
※レベル表示は､通常の音声で“ㅁ”が３個目まで表示され、大きい声のときに４個目の“ㅁ”が表示されるように調整します。

[録音が確定していない状態]
・録音ランプが点灯していない。

[録音が確定している状態]
・録音ランプが点灯している。
・録音中マークと再生マークが表示されている。

4 送話レベルの調整を終了するときは、「レベル調整スイッチ」を“通常”側に切り替えます。
※【待機画面】に戻ります。

● 受話レベルの調整

1 送話レベルの調整の手順１で **登録** ボタンを押すと、受話レベルの調整に切り替ります。

2 接続された電話機で、外線に電話をかけてお話しします。

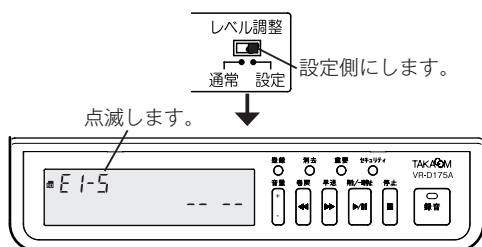
3 送話レベルの調整と同様に調整します。

※レベル数値は、１（小）～８（大）の間で設定できます。
※レベル表示は、通常の音声で“ロ”が３個目まで表示され、大きい声のときに４個目の“ロ”が表示されるように調整します。

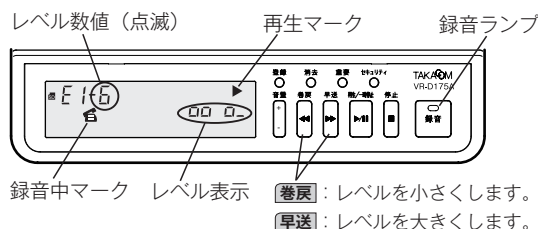
4 受話レベルの調整を終了するときは、「レベル調整スイッチ」を“通常”側に切り替えます。
※【待機画面】に戻ります。

■ 外部入力の調整

外部入力接続したときの、録音レベルを調整します。「機能設定スイッチ３および４」で、外部入力接続に設定します。「音源接続方式の設定」（16 ページ）を参照してください。

1 「入力切替スイッチ（1、2）」を外部音源出力レベル「標準」に合わせます。
※「入力切替スイッチの設定　外部入力接続の場合」を参照してください。

2 【待機画面】表示中に、本装置左側面の「レベル調整スイッチ」を“設定”側に切り替えます。
※【E1 レベル調整画面】が表示されます。

3 外部音源からの音声を入力します。

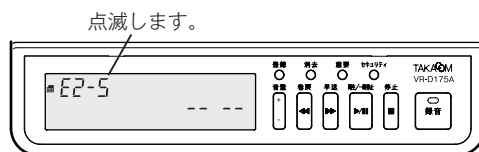
4 受話器入力の場合と同様に調整します。

※レベル数値は、１（小）～８（大）の間で設定できます。
※レベル表示は、通常の音声で“ロ”が３個目まで表示され、大きい声のときに４個目の“ロ”が表示されるように調整します。

5 レベルの調整を終了するときは、「レベル調整スイッチ」を“通常”側に切り替えます。
※【待機画面】に戻ります。

● 外部音源のレベルが小さいとき

前記の調整でレベルを最大にしても、録音した音声が小さい場合は、次の方法で調整を行ってください。

1 「入力切替スイッチ（1、2）」を外部音源出力レベル「小」に合わせます。
※「入力切替スイッチの設定　外部入力接続の場合」を参照してください。

2 外部入力の調整の手順２で **登録** ボタンを押します。
※【E2 レベル調整画面】が表示されます。

3 外部音源からの音声を入力します。

4 E1 レベルの調整と同様に調整します。

5 レベルの調整を終了するときは、「レベル調整スイッチ」を“通常”側に切り替えます。
※【待機画面】に戻ります。

機能登録を変える

本装置のいろいろな動作条件を変更することができます。

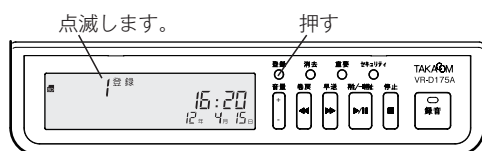
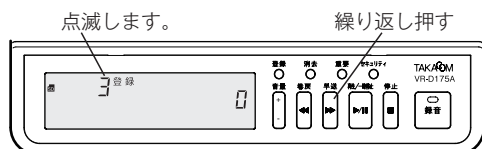
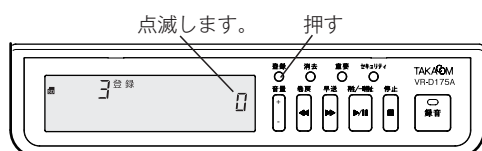
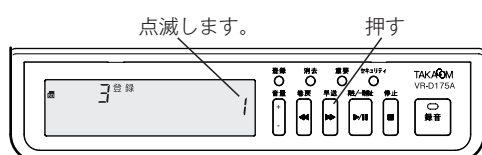
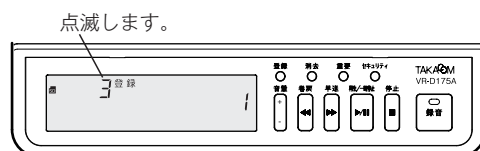
設定一覧

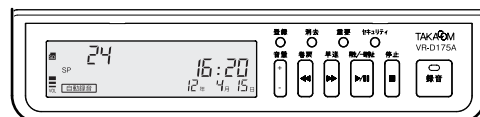
登録番号	項目名	内容	値の意味と範囲	工場出荷時	関連ページ
1	日時設定	内蔵時計の年月日時刻を合わせます。	2012年1月1日～ 2099年12月31日	なし	15
2	録音モード	録音モードを設定します。LPモード（長時間）にすると録音時間はSPモード（標準）の2倍になりますが、音質が多少悪くなります。	0：SPモード（標準） 1：LPモード（長時間）	0	4
3	エンドレス録音	SDカードを使い切ったとき、古い録音を消しながら新しい録音をする「エンドレス録音」を、する／しないを設定します。	0：しない 1：する	0	26
4	装置番号	この装置の装置番号を登録します。複数の装置をご使用の場合に区別できます。	001～999	001	21
5	最大録音時間	ひとつのファイルに保存できる最大録音時間を設定します。	1～99分	60	-
6	タイムスタンプ	再生時に、そのファイルの録音日時をアナウンスする「タイムスタンプ」を、使用する／しないを設定します。	0：使用しない 1：使用する	0	28
7	セキュリティロック	再生や登録などの操作を禁止する「セキュリティロック」を、使用する／しないを設定します。	0：使用しない 1：使用する	0	33
		使用する場合、4桁の暗証番号を登録する。	各桁1～6の数	1111	33
8	後追い録音	録音の起動が確定する最大5秒前からの音声を保存する「後追い録音」機能を、使用する／しないを設定します。	0：使用しない 1：使用する	0	-
9	ビギニング録音	手動録音で、通話の途中で録音を開始したとき、その通話の冒頭からの音声を保存する「ビギニング録音」機能を、使用する／しないを設定します。	0：使用しない 1：使用する	0	24
10	終話検出時間	音声起動方式のときに、音声がなくなってから録音を終了するまでの時間を設定します。	0：4秒 1：8秒	0	25
11	テールカット	音声起動方式で録音されたファイルを再生するときに、終話検出時間分の再生をカットする「テールカット」機能を、使用する／しないを設定します。	0：使用しない 1：使用する	0	-
12	メモリフルアラーム	SDカードを使い切ったときに、アラーム音を、出す／出さないを設定します。	0：出さない 1：出す	0	27
13	キー受付音	本装置のボタン操作をしたときに、受付音を、出す／出さないを設定します。	0：出さない 1：出す	1	-
14	再生済み表示	指定されたファイルが、以前に再生済みの場合のマークを、表示する／しないを設定します。	0：表示しない 1：表示する	0	28
15	自動録音待機セット	自動録音方式で、録音ランプが30秒以上消えている場合に、自動的に録音待機状態にする機能を、使用する／しないを設定します。	0：使用しない 1：使用する	0	25
16	外部起動入力	外部起動入力が、回線電圧により録音起動／メーク（接）により録音起動／ブレーク（断）により録音起動を設定します。 ※電話回線に接続してご使用の場合は、必ず、「0：回線電圧起動」に設定します。	0：回線電圧起動 1：メークで起動 2：ブレークで起動	0	11,12
17	外部起動出力	本装置がVR OUTジャックに出力する信号を、本装置が録音状態になったときに出力する／外部起動入力に連動して出力するを設定します。	0：本装置が録音状態になったとき出力 1：外部起動入力に連動して出力	0	12
18	起動後即時操作	電源の接続時にSDカードへのアクセスを保証する時間前に本装置の操作を、する／しないを設定します。（※1）	0：しない 1：する	0	10
19	フォーマット	SDカードを本装置用に初期化します。	yes：実行 no：中止	no	6

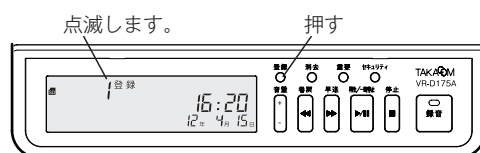
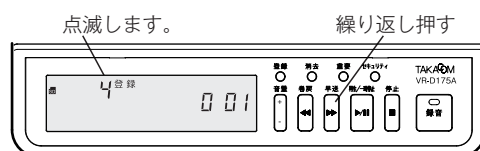
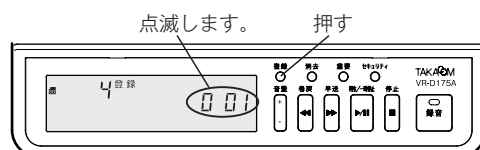
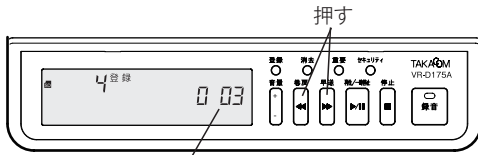
※ 1：本装置を電源に接続後 SD カードへアクセスしてデータの内容を保証するまでに、AC100V 接続時で 15 秒程度、USB 接続で 25 秒程度必要になります。この時間中でも本装置の操作は可能であるため、必要な場合は設定値を "1：する " に変更して、本装置をご使用ください。
ただし設定値を "1：する " に変更した場合、前述の時間中に停電などにより電源断となった場合は、SD カードを正常に読み取ることができなくなる恐れがあります。
設定変更する場合はご注意ください。

変更方法

各機能登録の変更は、次の手順で行います。録音ランプが点灯しているときは、**停止** ボタンを押して消灯します。
例：登録番号「3」のエンドレス録音を、「0 ＝しない」から「1 ＝する」に変更します。

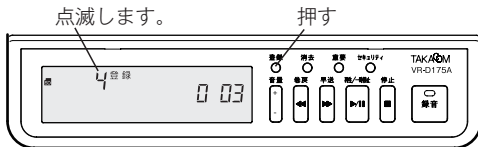
1 **登録** ボタンを押します。
※登録モードになり、登録番号「1」が点滅します。

2 **早送** ボタンを押して、登録番号を「3」まで進めます。

3 **登録** ボタンを押して、登録番号を決定します。
※現在の登録値「0」が点滅します。

4 **早送** ボタンを押して、登録値を「1」にします。

5 **登録** ボタンを押して、登録値を決定します。
※手順 2 の登録番号の選択画面に戻ります。

ほかの登録内容を変更するときは、手順 2 の登録番号の選択から操作します。

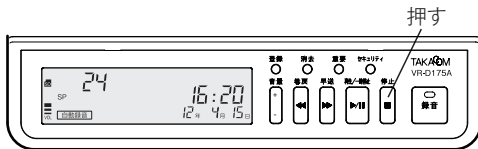
6 終了するときは **停止** ボタンを押します。
※【待機画面】に戻ります。

● 装置番号の登録方法について

1 **登録** ボタンを押します。
※登録モードになり、登録番号「1」が点滅します。

2 **早送** ボタンを押して、登録番号を「4」まで進めます。

3 **登録** ボタンを押します。
※初期値の装置番号「００１」が点滅します。

4 巻戻 / 早送 ボタンを押して装置番号を選択します。

※ 巻戻 ボタンはひとつ前の番号へ、早送 ボタンはひとつ先の番号へ、押すたびに移動します。

※「999」で 早送 ボタンを押すと「001」に、「001」で 巻戻 ボタンを押すと「999」に移動します。

5 登録 ボタンを押して、装置番号を決定します。

※手順２の登録番号の選択画面に戻ります。

6 終了するときは 停止 ボタンを押します。

※【待機画面】に戻ります。

ワンポイント

● 巻戻 / 早送 ボタンを押し続けると、装置番号の移動が高速で行えます。

・最初の５秒間　：１番号単位で増減。
・次の５秒間　　：10 番号単位で増減。
・10 秒以降　　：20 番号単位で増減。

通話を録音する

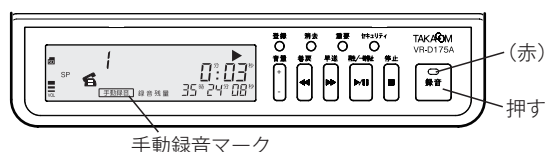
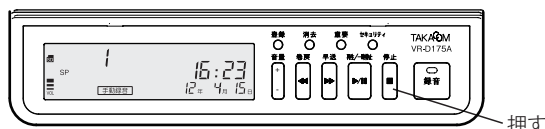
録音

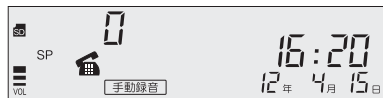
本装置の録音方式には、手動録音と自動録音の２種類があります。いずれかの方式を機能設定スイッチで設定します。設定方法は「設定　機能設定スイッチの切り替え」（16 ページ）を参照してください。

■ 手動録音方式

ボタン操作で録音の「開始／停止」を行う方式です。

ディスプレイに手動録音マークが表示されていることを確認します。

1 **録音** ボタンを押すと、録音を開始します。
※録音ランプが赤色点灯に変わります。

2 **停止** ボタンを押すと、録音を終了します。
※録音ランプが消灯に変わります。

ビギニング録音機能について

- 本装置の手動録音方式では、ビギニング録音機能が使用できます。ビギニング録音機能を設定すると、通話の途中で録音を開始した場合でも、その通話の始まったときからの通話内容を録音保存できます。
  【ビギニング録音中のディスプレイ表示】

※待機中の画面で録音中マークが表示されます。
※ビギニング録音機能の録音起動方式は、音声起動方式と回線・外部起動方式のいずれかが設定できます。

- １つの通話が複数のファイルに分割される場合があります。このときはビギニング録音の対象にはなりません。ファイルの分割については「音声ファイルのファイル分割について」（25 ページ）を参照してください。
- ビギニング録音の設定方法は「機能登録を変える」（20 ページ）を参照してください。

ワンポイント

- 通話の音声が小さいなどで「録音中マーク」が表示されないときは、ビギニング録音はされません。
- ビギニング録音が最大録音時間を超えた場合、その録音は一旦キャンセルされ、引き続き新しいビギニング録音が始まります。
- ビギニング録音中は各操作ボタンが有効です。ボタン操作を行うとそのビギニング録音は一旦キャンセルされますが、操作を終了して【待機画面】に戻ると新しいビギニング録音が始まります。

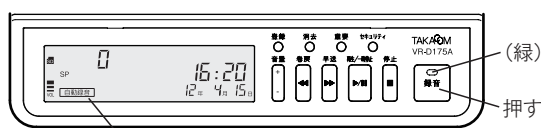
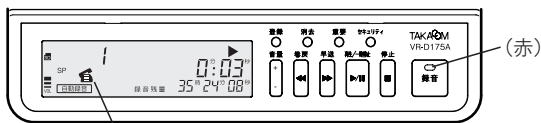
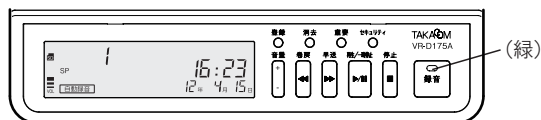
■ 自動録音方式

本装置を録音待機状態にセットしておけば、音声を検出するなどの録音起動信号により自動的に録音が開始される方式です。録音起動方式には、音声起動方式と回線・外部起動方式の２種類があります。いずれかの方式を機能設定スイッチで設定します。設定方法は「設定　機能設定スイッチの切り替え」（16 ページ）を参照してください。

● 音声起動方式のとき

通話時の音声の「有り／無し」で、録音を「開始／停止」します。

ディスプレイに自動録音マークが表示されていることを確認します。

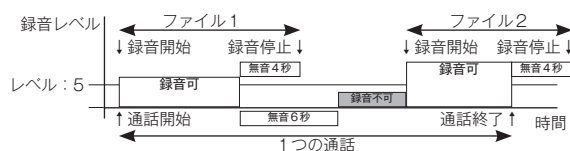
1 **録音** ボタンを押します。
※録音ランプが緑色点灯して、録音待機状態になります。

2 通話の音声が検出されると録音を開始します。
※録音ランプが赤色点灯に変わります。

3 音声がなくなると一定時間後に録音を終了します。
※録音ランプが緑色点灯に変わります。

ワンポイント

- 音声がなくなってから、停止するまでの時間を変更することができます。「機能登録を変える」(20ページ）を参照してください。
- １つの通話に音声が小さい通話（無音を含む）が８秒（工場出荷時の設定で４秒）以上あるときは、音声ファイルは分割されます。

音声ファイルのファイル分割について

- 音声起動方式で通話録音を行なった場合、１つの通話の中で無音時間が長い、または音声が小さいなどの理由により、音声ファイルが複数に分割されることがあります。

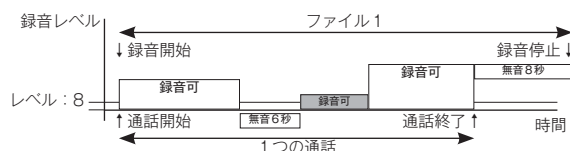
【現在の設定例（工場出荷時）】
・終話検出時間：” 0”（4 秒）
・録音レベル：5

【通話例】
・１通話に無音時間が６秒ある場合
・通話中に音声の小さい通話（ ）がある場合

このときは下記のような対応で改善できることがあります。

【無音時間が長い場合】
通話の音声が終了してから通話録音を終了するまでの検出時間を長くする。
⇒「機能登録を変える」(20 ページ) において、登録番号 10（終話検出時間）の設定値を” 1 ”（8 秒）に変更してください。

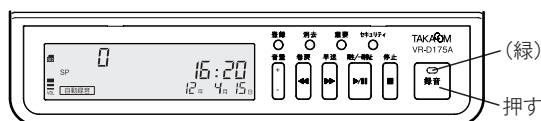
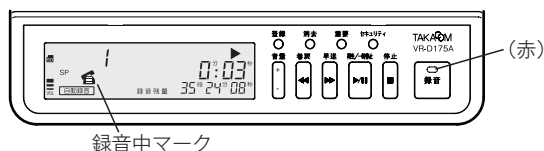
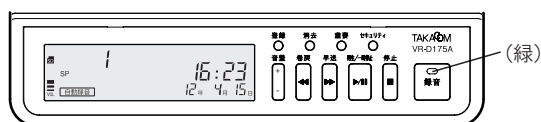
【音声が小さい場合】
録音レベルの設定値を大きくする。
⇒「録音レベルの調整　受話機入力の調整」（18 ページ）を参照して録音レベルを大きく設定してください。

【修正後の設定例】
・終話検出時間：” 1 ”（8秒）
・録音レベル：8

【通話例】
・１通話に無音時間が６秒ある場合
・通話中に音声の小さい通話（ ）がある場合

● 回線・外部起動方式のとき

回線または外部からの起動信号によって、録音を「開始／停止」します。
※録音の起動信号の設定については、「機能登録を変える」登録番号 16（外部起動入力）（20 ページ）を参照してください。

ディスプレイに自動録音マークが表示されていることを確認します。

1 **録音** ボタンを押します。
※録音ランプが緑色点灯して、録音待機状態になります。

2 録音起動信号が来ると録音を開始します。
※録音ランプが赤色点灯に変わります。

3 録音起動信号がなくなると、録音を終了します。
※録音ランプが緑色点灯に変わります。

- 自動録音を終了するときは、**停止** ボタンを押します。
※録音ランプが消灯して、【待機画面】に戻ります。

ワンポイント

- 自動録音方式で「自動録音待機セット」の設定が“使用する” の場合は、【待機画面】に戻ったあと無操作状態が 30 秒継続すると録音ランプが点灯（緑）して録音待機状態になります。

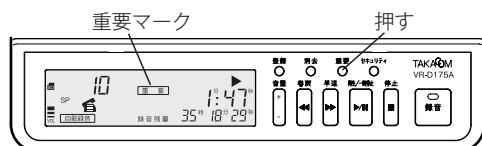
■ 録音中の操作

録音中には次のような操作を行うことができます。

● 重要マークを付ける

大切な用件に重要マークを付けて、誤って消去することがないようにできます。

1 録音中に［重要］ボタンを押します。

※録音中のファイルに重要マークが付きます。

◆ 重要マークの付いたファイル（重要ファイル）

重要マークを付けることにより、重要ファイルだけを再生することができます。「再生　重要ファイルモード」（30 ページ）を参照してください。

ワンポイント

- 一度付けた重要マークは録音中に消去することはできません。
  録音を終了して「ファイルの操作　重要マークの消去」（32 ページ）の方法で消去してください。
- 重要ファイルは通常の消去操作では消去することができません。上記の方法で重要マークを消去してからファイルを消去してください。

● 録音中の音声をモニターする

本装置のイヤホンジャックにイヤホンを接続すると、録音中の音声をモニターすることができます。モニター音は音量ボタンで調節できます。

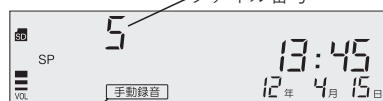
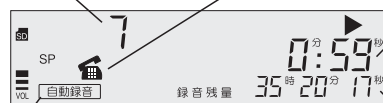
※イヤホンは市販の「モノラル・ミニプラグ」の商品をご用意ください。

ワンポイント

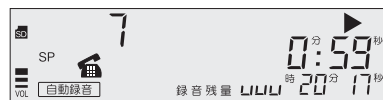
- 録音中の音声を本装置のスピーカからモニターすることはできません。

ディスプレイ表示

録音時にはディスプレイに次のような録音情報が表示されます。

■ 録音待機中の表示

■ 録音中の表示

ワンポイント

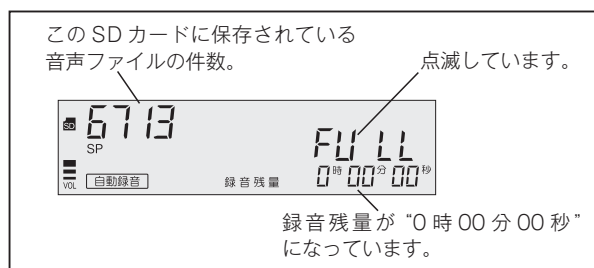
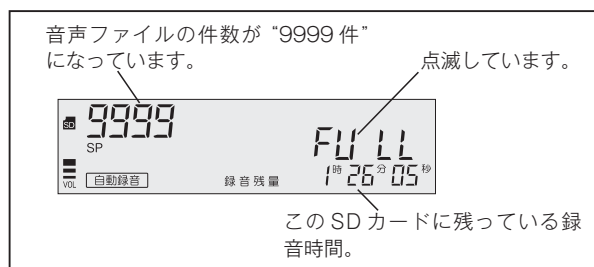
- SD カードの録音残時間が 1000 時間以上の間は、時間部分が uuu 時と表示されます。分、および秒部分は数値表示されます。

エンドレス録音について

機能登録で「エンドレス録音」を“使用する”に設定した場合は、SD カードの録音残量が少なくなると古い音声ファイルから順に自動的に消去して録音を継続します。ただし、重要ファイルは自動消去されません。

エンドレス録音の設定方法は「機能登録を変える」（20 ページ）を参照してください。

SD カードについて

■ SD カードを使い切ると

機能登録で「エンドレス録音」を“使用しない”に設定した場合は、SD カードの録音時間を使い切ると下図のような表示になります。
このとき、登録機能で「メモリフルアラーム」を”出す”に設定した場合は、アラーム音が鳴ります。
また、自動録音方式の場合は録音ランプが緑の点滅に変わります。

また、1 枚の SD カードに保存できる音声ファイルは、最大 9999 件です。9999 件になると、録音残量がゼロでなくても、下図の表示が出て以後の録音はできません。

これらの表示が出たら、SD カードを交換するか、不要なファイルを消去してください。

■ アラームの有無

メモリフルアラームの設定方法は「機能登録を変える」（20 ページ）を参照してください。

■ 録音残量の表示

待機中に SD カードの録音残量を確認することができます。詳しくは「ファイルの操作　録音残量表示」（31 ページ）を参照してください。

■ SD カードの交換

SD カードの交換のしかたは「お使いになる前に　SD カードについて」（5 ページ）を参照してください。

STOP お願い

● SD カードマークが点滅中は、SD カードを取り出さないでください。保存されているデータが壊れることがあります。

■ 録音中の電源断

通話を録音中に停電などにより電源断が発生した場合、SD カードは抜かずにそのままの状態で本体装置の電源を復旧してください。

STOP お願い

● 録音途中での電源断の状態から SD カードを取り出さないでください。保存されているデータが壊れることがあります。

■ ファイルの消去

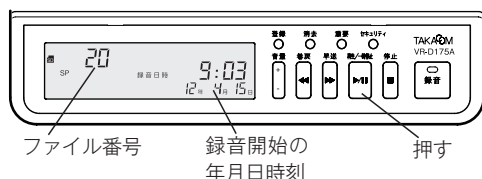
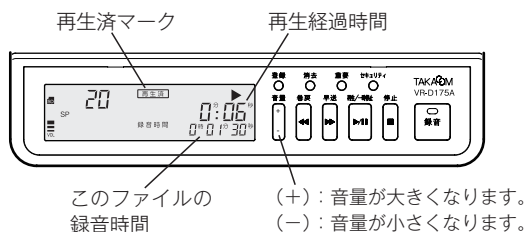
音声ファイルの消去のしかたは「ファイルの操作　ファイルの消去」（32 ページ）を参照してください。

通話の再生とファイルの操作をする

再生

録音ランプが点灯しているときは、**停止** ボタンを押して消灯します。

1 **巻戻** / **早送** ボタンを押して、再生するファイルを選択します。

2 再生するファイルが表示されたら、**再生 / 一時停止** ボタンを押します。

3 再生が始まります。

再生音は **音量** ボタンで調節することができ、本装置のスピーカから聞こえてきます。

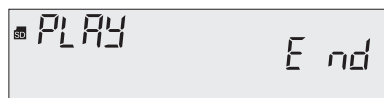
※「タイムスタンプ」が“使用する”に設定されていると、録音が開始された「月日時刻」を再生したあとに録音内容が再生されます。

※「再生済み表示」が“使用する”に設定されていると、再生開始後しばらくすると、再生済マークが表示されます。

※「タイムスタンプ」「再生済み表示」については、「機能登録を変える」（20 ページ）を参照してください。

4 複数のファイルがある場合は、ファイル番号の若い順に再生を続けます。

※最後のファイルの再生が終了すると、約 2 秒間【再生終了表示】が表示され、【待機画面】に戻ります。

【再生終了表示】

※【再生終了表示】の表示中に **巻戻** ボタンを押すと、巻き戻しや 1 つ前のファイルに移動することができます。

ワンポイント

● 本装置のイヤホンジャックにイヤホンを接続すると、再生音をイヤホンから聞くことができます。この場合、スピーカから再生音は拡声されません。

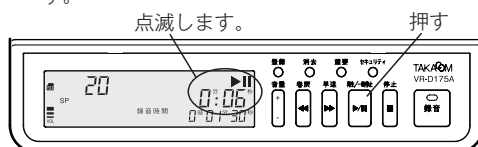
※イヤホンは市販の「モノラル・ミニプラグ」の商品をご用意ください。

■ 再生中の操作

再生中には次のような操作を行うことができます。

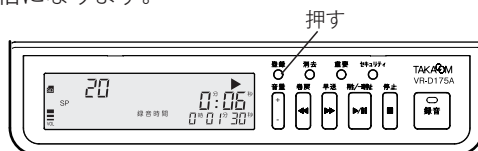
● 一時停止

1 再生中に **再生 / 一時停止** ボタンを押します。

※再生を中断して一時停止マークと再生時間が点滅します。

再生に戻るときは、もう一度 **再生 / 一時停止** ボタンを押します。

※一時停止が 2 分以上継続すると、再生を停止して【待機画面】に戻ります。

● 早聞き

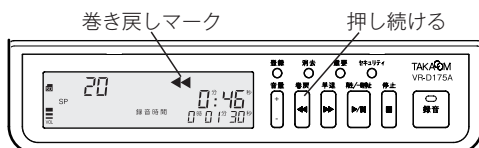
1 再生中に **登録** ボタンを押すと、再生速度が 1.5 倍になります。

もう一度 **登録** ボタンを押すと通常の再生速度に戻ります。

停止 ボタンを押すと、次からの再生は、通常の速度で再生します。

※早聞き中にファイルの終わりになると、次のファイルを早聞きします。

※すべてのファイルを早聞きすると【再生終了表示】が表示されます。

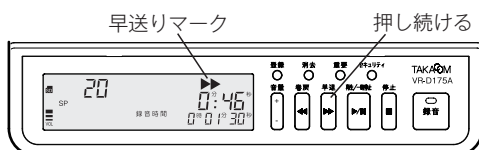
● 巻き戻し

1 再生中に **巻戻** ボタンを 0.5 秒以上押し続けると、ファイルは次の様に巻き戻されます。
- ・最初の 5 秒間は、中速（約 7.5 倍）で巻き戻されます。（再生音は聞こえません。）
- ・以後は、高速（約 25 倍）で巻き戻されます。（再生音は聞こえません。）

ボタンを離すと再生に戻ります。

※巻き戻し中にファイルの冒頭に来ると、1 つ前のファイルを巻き戻します。

※すべてのファイルを巻き戻すと、巻き戻しを終了し巻き戻しマークが消えます。ボタンを離すと再生を開始します。

● 早送り

1 再生中に **早送** ボタンを 0.5 秒以上押し続けると、ファイルは次の様に早送りされます。
- ・最初の 5 秒間は、早聞きで再生されます。
- ・次の 5 秒間は中速（約 7.5 倍）で早送りされます。（再生音は聞こえません。）
- ・以後は高速（約 25 倍）で早送りされます。（再生音は聞こえません。）

ボタンを離すと再生に戻ります。

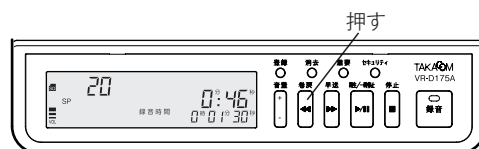
※早送り中にファイルの終わりになると、次のファイルを早送りします。

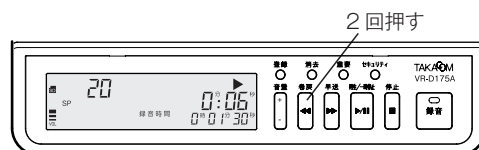
※すべてのファイルを早送りすると【再生終了表示】が表示されます。

ワンポイント

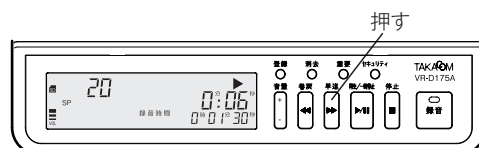
● タイムスタンプの再生中は、**巻戻** / **早送** のボタン操作はできません。

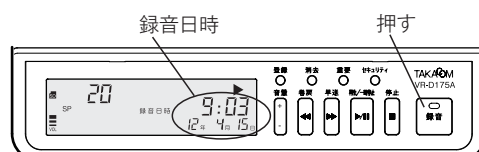
● 再生中のファイルの冒頭に戻る

1 再生中に **巻戻** ボタンを押すと、そのファイルの冒頭に戻り、再生が始まります。ただしタイムスタンプは再生されません。

● 1 つ前のファイルに移動する

1 再生中に **巻戻** ボタンを 2 回押すと、1 つ前のファイルの冒頭に移動して、再生が始まります。ただしタイムスタンプは再生されません。
- ・ボタンを押す間隔は、0.5 秒以内にします。

● 次のファイルに移動する

1 再生中に **早送** ボタンを押すと、次のファイルの冒頭に移動して、再生が始まります。

※最後のファイルを再生中にこの操作を行うと、約 2 秒間【再生終了表示】が表示され【待機画面】に戻ります。

● 録音日時を表示する

1 再生中に **録音** ボタンを押すと、約 3 秒間そのファイルの録音日時が表示されます。

● **重要マークを付ける**

大切なファイルに重要マークを付けて、誤って消去することがないようにできます。

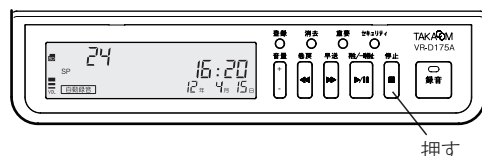
1 再生中に **重要** ボタンを押します。
※再生中のファイルに重要マークが付きます。

ワンポイント

- 一度付けた重要マークは再生中に消去することはできません。
  再生を終了して「ファイルの操作　重要マークの消去」（32 ページ）の方法で消去してください。
- 重要ファイルはそのままで消去することができません。重要マークを消去してからファイルを消去してください。

■ 再生を終了する

再生を途中で終了するときは **停止** ボタンを押します。

1 再生中に **停止** ボタンを押します。
※再生を終了して【待機画面】に戻ります。

■ 重要ファイルモード

SD カードに保存されている音声ファイルの中から、重要ファイルだけを操作することができます。

● **重要ファイルモードにする**

1 【待機画面】または【録音情報表示画面】のときに **重要** ボタンを押します。
※重要マークが点滅します。
※重要ファイルのファイル番号が表示されます。

2 再生およびファイルの操作は、重要ファイルのみが対象となります。
※操作方法は通常と同じですが、このモードではファイルに付いた重要マークを消去することはできません。

ワンポイント

- 手順 1 で **重要** ボタンを押したときに、重要ファイルが 1 つもない場合は、次の表示となり重要ファイルモードになりません。

- 30 秒間ボタン操作を行わないと重要ファイルモードは解除されます。

● **重要ファイルモードを解除する**

1 重要ファイルモードの【待機画面】または【録音情報表示画面】のときに **重要** ボタンを押します。
※重要マークの点滅が消え、重要ファイルモードは解除されます。

ワンポイント

- 重要ファイルモードは、 **録音** ボタンを押したときにも解除されます。
  ※自動録音方式では録音待機となり、手動録音方式では録音を開始します。

重要ファイルモードでは・・・

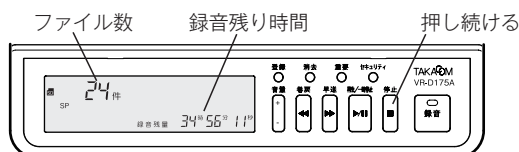
- 録音残量表示で表示されるファイル数は、重要ファイルの数です。
- ファイルの移動では重要ファイルだけが１ファイル単位で表示されます。高速での移動はできません。

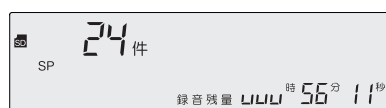
ファイルの操作

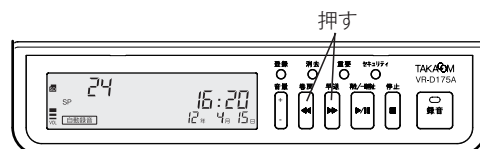
【待機画面】（録音ランプ消灯、再生や登録をしていない画面）のときに、次のような操作ができます。

■ 録音残量表示

1 **停止** ボタンを押し続けます。

※押している間､録音されているファイルの件数とSDカードの録音残量（時間）が表示されます。

ワンポイント

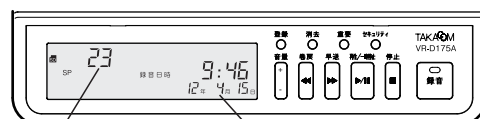
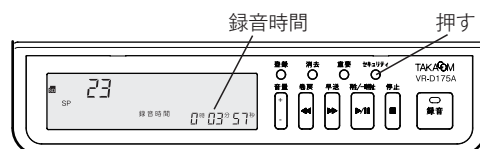
- 手順１で **停止** ボタンを押したときに、録音残時間が1000時間以上の間は、時間部分がuuu時と表示されます。分、および秒部分は数値表示されます。

■ ファイルの移動と録音情報表示

1 **巻戻** ／ **早送** ボタンを押します。

※ **巻戻** ボタンは１つ前のファイルへ、 **早送** ボタンは１つ先のファイルへ、押すたびに移動します。

※一番新しいファイルで **早送** ボタンを押すと、一番古いファイルに移動します。また、一番古いファイルで **巻戻** ボタンを押すと、一番新しいファイルに移動します。

※ **停止** ボタンを押しながら **巻戻** ／ **早送** ボタンを押すと、それぞれ一番古いファイル／一番新しいファイルへ移動します。

2 ファイルを移動したとき、約５秒間そのファイルの録音情報が表示されます。

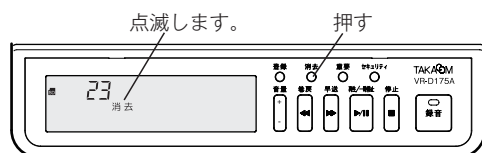
【録音情報表示画面】

3 録音情報を表示中に **セキュリティ** ボタンを押すと、押している間、そのファイルの録音時間が表示されます。

ワンポイント

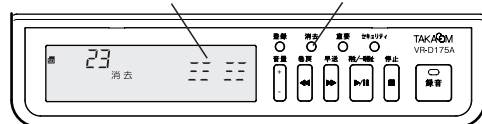
- **巻戻** ／ **早送** ボタンを押し続けると、ファイルの移動が高速で行えます。
  - ･最初の５秒間　：１ファイル単位で増減。
  - ･次の５秒間　：10ファイル単位で増減。
  - ･10秒以降　：100ファイル単位で増減。

■ ファイルの消去

1 「ファイルの移動」の方法で消去するファイルを選びます。

2 **消去** ボタンを押します。

※消去マークが点滅します。

3 もう一度 **消去** ボタンを押します。

※ “ピッピッ・・・” と鳴って次の表示となり消去されます。

ワンポイント

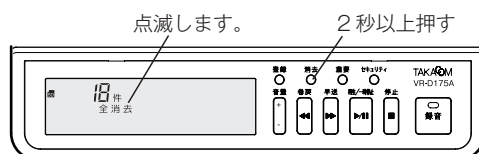
- 重要ファイルを消去することはできません。重要ファイルを選択しているときに **消去** ボタン押すと、“ピピピピッ” と鳴って次の表示となり消去できません。

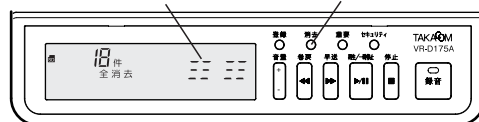
- 重要ファイルを消去するときは、「重要マークの消去」の方法で重要マークを消去したあとファイルの消去をするか、SD カードをフォーマットします。フォーマットすると SD カード内のすべてのファイルが消去されます。フォーマットについては、「お使いになる前に」（6 ページ）を参照してください。

■ すべてのファイルの消去

1 **消去** ボタンを２秒以上押し続けます。

※全消去マークが点滅します。

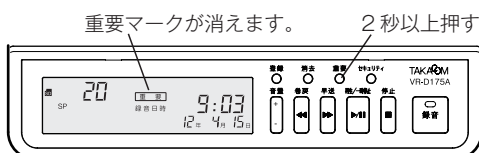
※重要ファイルを除くファイル数（消去されるファイル数）が表示されます。

2 もう一度 **消去** ボタンを押します。

※ “ピッピッ・・・” と鳴って次の表示となり、重要ファイル以外のすべてのファイルが消去されます。

■ 重要マークの消去

重要ファイルに指定したファイルを、通常のファイルに戻します。

1 「ファイルの移動」の方法で重要マークを消去するファイルを選びます。

2 **重要** ボタンを２秒以上押し続けます。

※ “ピッ” と鳴って重要マークが消えます。

ワンポイント

- 重要マークが表示されているファイルを消去するときは、先に必ず重要マークを消去してください。

再生とファイルの操作を禁止する

機能登録の「セキュリティロック」を“使用する”に設定した場合、4 桁の暗証番号を登録すると「録音の開始と停止」以外の操作を制限することができます。

■ セキュリティロック中の表示

セキュリティマークが表示されます。

点灯：セキュリティロック中
点滅：セキュリティ解除中

● セキュリティロック対象外の操作

次の操作はセキュリティロック中でも可能です。

- ・自動録音方式での録音待機状態のセットと解除。
- ・手動録音方式での録音開始と停止。
- ・機能設定スイッチ、入力切替スイッチ、レベル調整スイッチの操作。

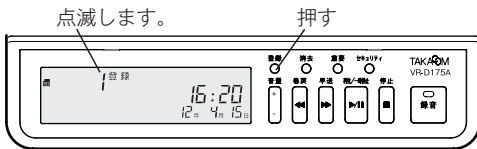
■ セキュリティロックの設定方法

セキュリティロックの設定と暗証番号の登録は、次の手順で行います。

録音ランプが点灯しているときは、 **停止** ボタンを押して消灯します。

1 **登録** ボタンを押します。

※登録モードになり、登録番号「1」が点滅します。

点滅します。　押す

2 **早送** ボタンを押して、登録番号を「7」まで進めます。

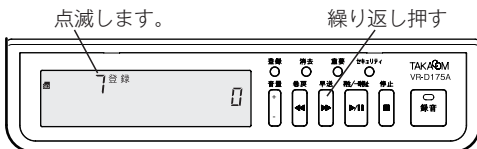
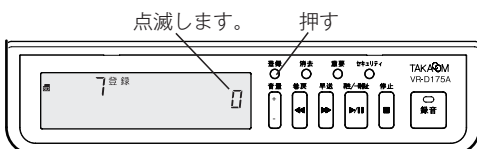
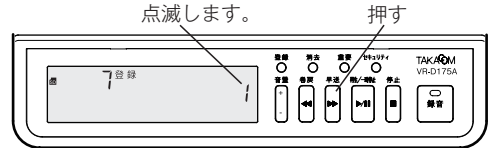
点滅します。　繰り返し押す

3 **登録** ボタンを押して、登録番号を決定します。

※現在の登録値「0」が点滅します。

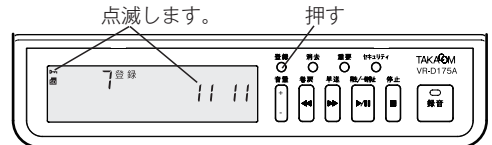
点滅します。　押す

4 **早送** ボタンを押して、登録値を「1」にします。

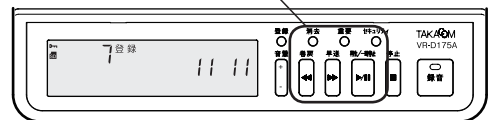
点滅します。　押す

5 **登録** ボタンを押して、登録値を決定します。

※暗証番号（初期値の場合、「１１１１」）が表示され、1 桁目が点滅します。

※セキュリティマークが点滅します。

点滅します。　押す

※ 暗証番号が初期値「１１１１」の例。

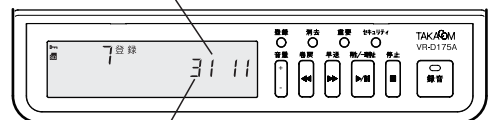
6 **消去** 、 **重要** 、 **セキュリティ** 、 **巻戻** 、 **早送** 、 **再生／一時停止** のいずれかのボタンで暗証番号の 1 桁目を登録します。

６つのボタンで暗証番号を登録します。

ワンポイント

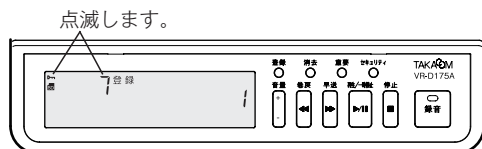
● 暗証番号登録時の、各ボタンに対応する数は下表のとおりです。暗証番号は各桁「1～6」の範囲で登録できます。

ボタンの種類	対応する数
消去	1
重要	2
セキュリティ	3
巻戻	4
早送	5
再生／一時停止	6

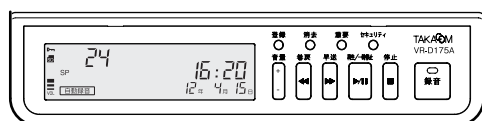
7 いずれかのボタンを押して 1 桁目を登録すると、2 桁目が点滅します。

２桁目が点滅します。

※ **セキュリティ** ボタンが押された例。

同様に、２～４桁目の暗証番号を入力します。

8 4 桁目の暗証番号を入力し **登録** ボタンを押すと、セキュリティロックの設定を完了して、手順２の登録番号の選択画面になります。

9 **停止** ボタンを押します。

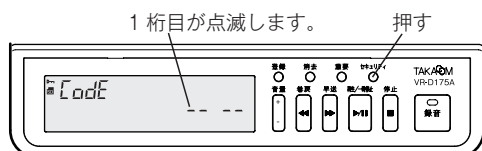
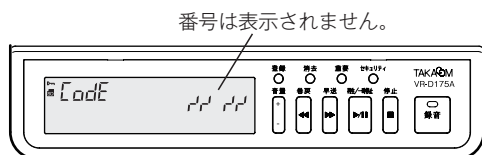
※【待機画面】に戻ります。

※ 10 秒間何も操作をしないとセキュリティマークが点灯に変ります。

■ セキュリティロックを一時解除する

セキュリティロックされた本装置で再生などの操作を行なう場合は、次の手順でセキュリティロックを一時解除してください。

暗証番号が一致するとセキュリティロックが一時解除され、再生ボタンなどの操作ができます。操作終了後約 10 秒間ボタン操作がないとセキュリティロックの状態に戻ります。

1 **セキュリティ** ボタンを押します。

※【暗証番号入力画面】になり、暗証番号の 1 桁目が点滅します。

2 操作パネルの各ボタンで暗証番号（4 桁）を入力します。

3 暗証番号が一致すると“ピー”と鳴ってセキュリティマークが点滅して、セキュリティロックが解除されます。

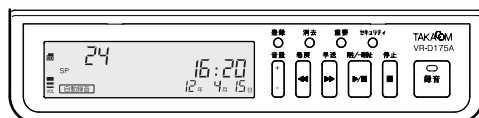
暗証番号が不一致の場合は” ピピピピ” と鳴って【待機画面】に戻り、セキュリティロックは解除されません。

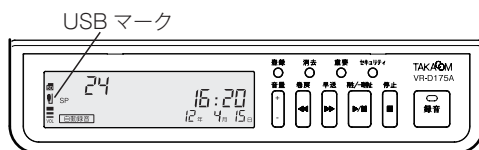
USB でパソコンと接続する

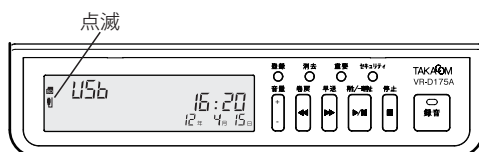
本装置と「VPS175」をインストールしたパソコンを USB 接続すると、本装置への電源の供給やパソコンへのファイル転送などの操作ができます。

● パソコン接続時のディスプレイ表示

1 本装置をパソコンと USB 接続すると、本装置に電源が供給され、しばらくすると【待機画面】が表示されます。

※電源アダプタを接続する必要はありません。

2 パソコンで「VPS175」を起動します。

※しばらくすると【待機画面】に USB マークが表示されます。

● ファイル転送中のディスプレイ表示

「VPS175」で本装置の音声ファイルを手動で転送中の時は、次の表示となり本装置での操作はできません。

ワンポイント

● あらかじめパソコンに「VPS175」と「VR-D175A の USB ドライバ」をインストールしておきます。

● インストールやファイルの転送方法などについては、「VPS175」の取扱説明書を参照してください。

● 「VPS175」の取扱説明書は、下記からダウンロードして解凍したフォルダに含まれています。

【タカコムホームページアドレス】
http://www.takacom.co.jp
「ソフトウェア」

操作早見表

録　音

■ 自動録音方式のとき

● **準備**

【待機画面】のときに操作します。

録音 ボタンを押します。

※録音ランプが緑色で点灯します。

● **録音**

1 録音条件になると録音を開始します。

※録音ランプが赤色で点灯します。

2 条件がなくなると録音を終了します。

※録音ランプが緑色で点灯します。

■ 手動録音方式のとき

● **録音開始**

【待機画面】のときに操作します。

録音 ボタンを押します。

※録音が開始し、録音ランプが赤色で点灯します。

● **録音終了**

停止 ボタンを押します。

※録音が終了し、録音ランプが消灯します。

■ 録音中の操作

録音中に操作します。

● **重要マークを付ける**

重要 ボタンを押します。

※該当の録音に「重要マーク」が付きます。

再生とファイル操作

■ 再生

【待機画面】のときに操作します。

1 再生 / 一時停止 ボタンを押します。

※再生が始まります。

■ 再生中の操作

再生中に操作します。

● **一時停止**

再生 / 一時停止 ボタンを押します。

※再生を再開するときは、もう一度 再生 / 一時停止 ボタンを押します。

● **巻き戻し、早送り**

巻戻 または 早送 ボタンを 0.5 秒以上押します。

● **再生中ファイルの冒頭に戻る**

巻戻 ボタンを押します。

● **１つ前のファイルに戻る**

巻戻 ボタンを２回押します。

（注意）ボタンを押す間隔は、0.5 秒以内にします。

● **次のファイルに進む**

早送 ボタンを押します。

● **重要マークを付ける**

重要 ボタンを押します。

※該当のファイルに「重要マーク」が付きます。

● **録音日時を表示する**

録音 ボタンを押します。

※約３秒間、そのファイルの録音日時が表示されます。

■ ファイルの操作

【待機画面】および【録音情報表示画面】のときに操作します。

● **録音残量表示**

停止 ボタンを押します。

● **ファイルの移動**

巻戻 または 早送 ボタンを押します。

● **録音情報の表示**

ファイルの移動時に、５秒間録音情報を表示します。

録音情報表示中に セキュリティ ボタンを押します。

※ファイルの録音時間が表示されます。

● **ファイルの消去**

ファイルを選択し、 消去 ボタンを２回押します。

● **全てのファイルの消去**

消去 ボタンを全消去が表示するまで２秒間押します。もう一度 消去 ボタンを押します。

● **重要マークの消去**

重要ファイルを選択して 重要 ボタンを２秒間押します。

（注意）重要ファイルモードでは消去できません。

■ 重要ファイルモード

【待機画面】のときに操作します。

1 重要 ボタンを押します。

※「重要マーク」が点滅します。

2 重要ファイルだけが操作の対象となります。

3【待機画面】のときにもう一度 重要 ボタンを押すと、重要ファイルモードは解除されます。

セキュリティの一時解除

【待機画面】のときに操作します。

1 セキュリティ ボタンを押します。

※【暗証番号入力画面】になります。

2 操作ボタンで暗証番号を入力します。

※セキュリティロックが一時解除され、セキュリティマークが点滅します。操作終了後約 10 秒間ボタン操作がないとセキュリティロックの状態に戻ります。

主な仕様

■ VR-D175A 仕様

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>仕様</th><th>備考</th></tr>
<tr><td rowspan="3">接続方式
（音声入力方法）</td><td>回線接続</td><td>アナログ一般回線 1 回線
モジュラー接続</td><td></td></tr>
<tr><td>受話器接続</td><td>受話器モジュラー端子（送受話端子番号切り替え可）</td><td></td></tr>
<tr><td>外部入力接続</td><td>3.5φモノラルミニジャック（インピーダンス　20kΩ）</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">録音</td><td>録音媒体</td><td>SD/mini SD/micro SD カード（128MB ～ 2GB）、
SDHC/mini SDHC/micro SDHC カード（4GB ～ 32GB）</td><td>注 1）、注 2）</td></tr>
<tr><td>録音方式</td><td>自動録音
手動録音（／手動ビギニング録音）</td><td></td></tr>
<tr><td>起動方式</td><td>音声起動／回線・外部起動</td><td></td></tr>
<tr><td>総録音時間</td><td>
<table>
<tr><th rowspan="2">録音媒体容量</th><th colspan="2">録音モード</th></tr>
<tr><th>SP モード</th><th>LP モード</th></tr>
<tr><td>128MB</td><td>8.5 時間</td><td>17 時間</td></tr>
<tr><td>256MB</td><td>17 時間</td><td>34 時間</td></tr>
<tr><td>512MB</td><td>34 時間</td><td>68 時間</td></tr>
<tr><td>1GB</td><td>68 時間</td><td>136 時間</td></tr>
<tr><td>2GB</td><td>138 時間</td><td>277 時間</td></tr>
<tr><td>4GB</td><td>277 時間</td><td>555 時間</td></tr>
<tr><td>8GB</td><td>555 時間</td><td>1110 時間</td></tr>
<tr><td>16GB</td><td>1110 時間</td><td>2221 時間</td></tr>
<tr><td>32GB</td><td>2220 時間</td><td>4444 時間</td></tr>
</table>
</td><td>注 3）</td></tr>
<tr><td>最大ファイル数</td><td>9999 個（1 枚の SD カードに保存できる最大数）</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">外部起動入力</td><td>端子位置</td><td>電話機接続ジャック（2-5 番ピン）</td><td></td></tr>
<tr><td>接点仕様</td><td>無電圧メーク／ブレーク
（接点容量：DC5V 10mA 以上、接点抵抗：1kΩ 以下）</td><td>最小信号時間
200ms 以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">VR OUT 端子</td><td>音声出力</td><td>最大 −20dBV（600 Ω負荷時）</td><td></td></tr>
<tr><td>接点出力</td><td>無電圧メーク（接点容量：DC30V 500mA 以下）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">時計精度</td><td>月差± 60 秒（通電時、25℃）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">USB インターフェース</td><td>USB 2.0　ミニ B コネクタ</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">環境条件</td><td>動作時</td><td>温度条件 : 5 ～ 40℃　湿度条件 : 20 ～ 85%</td><td>結露のないこと</td></tr>
<tr><td>保管時</td><td>温度条件 : −10 ～ 50℃　湿度条件 : 20 ～ 85%</td><td>結露のないこと</td></tr>
<tr><td colspan="2">VCCI</td><td>クラス A</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">RoHS 指令</td><td>対応</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法</td><td>幅 180mm ×奥行き 260mm ×高さ 15mm</td><td>ゴム足含まず</td></tr>
<tr><td colspan="2">質量</td><td>約 450g</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">電源</td><td>電源</td><td>AC100V ± 10V（専用電源アダプタ）</td><td></td></tr>
<tr><td>消費電力</td><td>約 4.5W</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">USB 電源</td><td>5V 500mA</td><td></td></tr>
</table>

注 1）mini SD/micro SD/mini SDHC/micro SDHC を本装置で使用する場合は、必ず専用の SD カードアダプタを装着してご使用ください。

注 2）SDHC UHS-Ⅰ/Ⅱには対応していません。

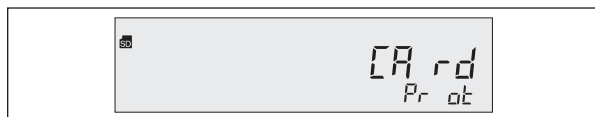
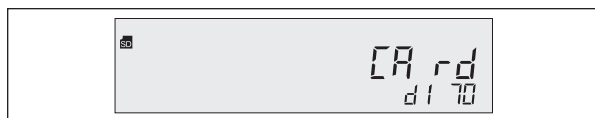
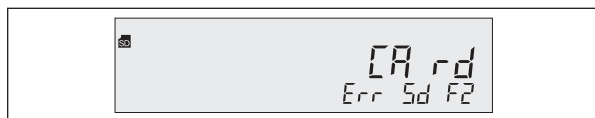
注 3）小刻みに録音を繰り返した場合や、短い通話の録音が多いときは、録音可能時間は上表より 5 ～ 20%程度短くなる場合がありますので、総録音時間は目安としてご使用ください。

故障とお考えになる前に

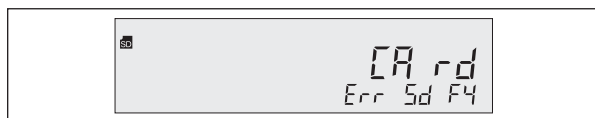
■ VR-D175A 本体装置

こんなときは	お確かめください	参照ページ
ディスプレイに表示が出ない。	電源アダプタが電源コンセントから外れていませんか？	10
ディスプレイに“CArd”と出て操作できない。	SD カードは奥までしっかりと入っていますか？	6
ディスプレイに“FULL”と出て操作できない。	SD カードを使い切りました。交換するか、不要な録音を消してください。	27
録音ランプが緑点灯のままで、録音が始まらない。	録音起動方式は合っていますか？ 録音のレベル調整を行ってみてください。	16 18
録音が別々のファイルに分かれてしまう。	最大録音時間を越えて録音していませんか？ 音声起動方式で、通話の音声が小さいか、または途中で無音がありませんでしたか？	20 25
ファイルの消去ができない。	重要マークが付いたファイルを表示しているときに操作していませんか？	32
［再生］や［登録］のボタンが押せない。	セキュリティロックが設定されていませんか？ ［セキュリティ］ボタンを押して、暗証番号を入力してください。	33

● ディスプレイのエラー表示

・SD カードの書込み防止スイッチがロックされていると、右図のように表示します。ロックを解除してください。

・SD カードを差し込んだときに、右図のように表示した場合は、一度当社の従来製品「VR-D170/VR-D170A/VR-D170AⅡ」に挿入してください。

・SD カードを差し込んだときに、右図のように表示した場合は、もう一度差しなおすか取り替えてください。

・SD カードに異常を認識すると、右図のように表示します。SD カードを挿入したまま本装置の電源を入れ直すか、SD カードをフォーマットするか取り替えてください。

※エラー表示中に［登録］ボタンを押すと、SD カードのフォーマットができます。フォーマットの方法については、本書６ページの「フォーマット」を参照してください。

※ SD カードエラー表示の例 (F4)

● 表示される SD カードエラー

エラー番号	発生エラー	想定要因	対処方法
F2	SD カード認識エラー	SD カード不良 対応できない SD カード	カードのさし直し カードの交換
F3	SD カード内ファイルエラー	アクセス中に SD カードを抜いた SD カード不良（寿命） SD カード内のファイルをパソコンで編集・削除した	カードのフォーマット カードの交換
F4	ファイルシステムエラー	アクセス中に SD カードを抜いた SD カード不良（寿命）	本装置の電源再供給 カードのフォーマット カードの交換
F6	リクエストエラー	アクセス中に SD カードを抜いた SD カード内のファイルをパソコンで編集・削除した	カードのフォーマット カードの交換

保証とアフターサービス

- 本書は、下記記載の保証条件で無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間内に故障した場合には、本書を提示のうえ、お買い上げ店または当社修理センターに修理をご依頼ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。お買い上げ店または当社修理センターへお問い合わせください。
- 本品の故障・誤操作または不具合により、通話などの利用機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

保　証　書

型　　名		通話録音装置 VR-D175A
保証期間		お買い上げ日より１年間
お買い上げ日		年　　月　　日
お客様	お名前	様
	電話番号	（　　）　　ー
	ご住所	〒
販売店名／住所／電話番号		

保　証　条　件

1 保証書記載の保証期間内に、取扱説明書などに従った正常なご使用状態で故障した場合には、お買い上げ店または当社修理センターが無償修理いたします。
2 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合には、お買い上げ店または当社修理センターに製品と本書をご持参またはご送付ください。尚、修理ご依頼のご持参、お持ち帰りの場合の交通費、またご送付される場合の送付費用などはお客さまのご負担となります。
3 保証期間内であっても、次の場合は有償修理となります。
① 保証書の提示がない場合
② 保証書にお買い上げ日、お買い上げ店印がない場合
③ 保証書記入箇所の字句を書き換えられた場合
④ 誤ったご使用方法で故障または損傷した場合
⑤ 輸送・移動中の落下などお取り扱いが適当でないために生じた故障または損傷の場合
⑥ 火災・地震・水害・雷害などの天災地変およびその他の特殊な外部要因によって故障または損傷した場合
⑦ 本製品に異常がなく、本製品以外の部分（例えば、電話線･電源･他の機器など）の不良を点検または改善した場合
⑧ 不当な修理や改造をしたために故障または損傷した場合
⑨ 消耗品を交換した場合
4 この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
5 この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
6 ご贈答品、ご転居後の修理については、当社修理センターにご相談ください。

使い方・取付け方などのご相談

お客様相談センター　0570-03-8811

受付時間：月～金 9：00～17：30　<土･日曜日、祝日、当社指定休日除く>

修理に関するご相談

●**製品の修理につきましては、お買い上げの販売店様または当社「修理センター」へお問い合わせください。**

当社ホームページ http://www.takacom.co.jp
「修理のご依頼」をご覧ください。

株式会社タカコム

株式会社タカコム

本社・工場／〒509-5202　岐阜県土岐市下石町西山 304-709

P1MK01070183R　Nov.2014